

昭島市教育委員会の事務事業
に関する点検及び評価報告書
(令和5年度分)

令和6年8月

昭島市教育委員会

目 次

頁

第1章 本報告書の作成にあたって

1 点検・評価の実施方針	2
2 昭島市教育委員会の教育目標及び基本方針	3
3 昭島市総合教育会議	7

第2章 教育委員会の組織及び活動状況

1 教育委員会の構成	8
2 教育委員会事務事業を主管する組織	8
3 教育委員会の会議	10
4 教育委員会の活動	11

第3章 主要施策の点検及び評価

評価シートの見方	15
----------	----

学校教育の推進

基本施策1 確かな学力の定着	17
基本施策2 豊かな心の醸成	25
基本施策3 健やかな体の育成	32
基本施策4 輝く未来に向かって	38

生涯学習の推進

基本施策1 文化芸術活動の促進	53
基本施策2 文化財の保護・調査・活用	59
基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興	63
基本施策4 図書館活動の充実	68
基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進	75

第4章 点検及び評価に関する外部評価員からの意見

第5章 資料

参考資料一覧	88
--------	----

第Ⅰ章 本報告書の作成にあたって

Ⅰ 点検・評価の実施方針

Ⅰ 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図るとともに教育委員会活動の透明性をより高め説明責任を果たすため、毎年、自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に報告し、公表することが義務付けられています。

教育委員会では、教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、更なる教育活動の推進に向けた『昭島市教育振興基本計画（令和 4 年度～令和 8 年度）』を策定し、教育施策を推進しています。この計画に基づく教育施策及び事業について、学識経験を有する方（以下「外部評価員」という。）の協力を得て、毎年度、点検評価を実施しています。

この報告書において課題とされた事項について、更に検討を加え、昭島市の更なる教育施策の推進に向け、学校教育、生涯学習の充実に努めてまいります。

Ⅱ 点検・評価報告書の実施方法

点検・評価報告書は、「効果的な教育行政の推進」と「市民への説明責任を果たすこと」を目的として作成しています。PDCAサイクルを意識して、着実な進行管理のもと、令和 4 年度を起点とする新たな『昭島市教育振興基本計画（令和 4 年度～令和 8 年度）』の実効性を高めていくことを目指し次のとおり実施します。

- ① 『昭島市教育振興基本計画（令和 4 年度～令和 8 年度）』に掲載している「主な取組」をすべて評価したうえで、施策ごとの評価を決定する。また、令和 5 年度（以下「評価対象年度」という。）における重点取組を、本報告書に掲載する。
- ② 評価対象年度における実績と課題を総括するとともに、評価基準を設け、分かりやすく記載し、次年度の取組の方向性を示す。
- ③ 教育委員会が委嘱した外部評価員の意見を付す。
- ④ 本報告書は、市ホームページで公表する。

2 昭島市教育委員会の教育目標及び基本方針

昭島市教育委員会は、市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進する。

子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、多様性を認め合い、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努める。

学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう、自ら考え判断して行動する力を培い、国際的視野を広げ、豊かな心と健やかな体をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進する。

社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指す。

子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実を図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図る。

【令和4（2022）年1月20日昭島市教育委員会決定】

【学校教育の目標及び基本方針】

1 目標

教育委員会は、市民憲章と人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童・生徒を育成します。また、持続可能な社会づくりに貢献する資質・能力を育むため、全教育活動にSDGsの目標に関連させた学習を展開し、学校・家庭・地域の密接な連携のもと、ふるさと昭島の自然や文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指します。

2 基本方針

教育委員会は、日本国憲法及び教育基本法に基づき、人権尊重の理念を正しく理解し、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を養うための教育を実施するとともに、学習指導要領の理念である「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、昭島市の教育振興基本計画に掲げた4つの施策、「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「健やかな体の育成」「輝く未来に向かって」を推進します。

学校は、本目標及び基本方針に基づいて、それぞれが立案する教育推進計画の実現に向けて教育活動を推進します。

○確かな学力の定着

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度を育成するため、ICTを効果的に活用するなど、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善と、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を図ります。
- ・児童・生徒の発達段階を踏まえ、個に応じた指導を充実させるとともに、児童・生徒の学習習慣の確立を図ります。

○豊かな心の醸成

- ・自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、多様な価値観を基に自己の生き方を深められるよう人権教育、道徳教育や体験的な学習を充実させ、児童・生徒の豊かな心を育成します。
- ・児童・生徒の健全育成を図るための取組を推進し、教育相談体制の充実を図ります。

○健やかな体の育成

- ・児童・生徒が健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指していけるよう、生涯にわたって運動に親しむ態度や関心・意欲を高める取組を推進し、健やかな体の育成を図ります。
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるよう、食育を推進します。

○輝く未来に向かって

- ・義務教育を円滑にスタートさせるため、就学前教育との連携の充実と、義務教育9年間を見通した育てたい児童・生徒像に基づいた小・中学校の連携を図ります。
- ・国際社会において活躍できるグローバルな人材の育成を図るため、伝統・文化に関する教育、環境教育、国際理解教育を推進します。
- ・社会に開かれた教育課程を通して学校の教育力の向上を図るとともに、キャリア教育を推進し、将来、児童・生徒が自立できる基礎を培う指導の充実を図ります。

【生涯学習推進の目標及び基本方針】

1 目標

昨今の少子高齢化、高度情報化、グローバル化の進展により、市民を取り巻く生活環境が急激に変化する中、人々のライフスタイルや価値観も多様化し、日常生活全般にわたる様々な課題が生じています。特に、人生100年時代には、SDGsの理念である“誰一人取り残さない”を基本に、高齢者から若者まですべての人々に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことができる社会をつくる必要があります。

そのためには、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を生活や地域での活動に生かすことができる生涯学習社会の実現へ向けて、市民それぞれの能力や必要性に応じ、「だれもが、いつでも、どこでも」気軽に学習し、互いにふれあい、家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動をはじめ、スポーツ、文化芸術など市民の自主性を尊重した生涯学習を推進する必要があります。このような学びを推進するための目標を「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習」と定めます。

2 基本方針

教育委員会は、市民の生涯学習を推進するための機関として、学習のきっかけづくりから、学習活動の支援、様々な生活課題の解決に向けた自主的な学習、更に文化芸術の振興、スポーツ活動への支援など、市民それぞれのニーズに応じた学習環境の整備を図る必要があります。

そのため、市民の自己実現を求める多様なニーズを的確に把握しながら、市長部局や教育機関をはじめ、関係行政機関・民間活動団体等との連携を図り、昭島市総合基本計画に沿って総合的かつ体系的な施策の展開を図ります。

具体的には、「文化芸術活動の促進」、「文化財の保護・調査・活用」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「図書館活動の充実」、「生涯を通じた学習活動の推進」の5つの施策を推進します。

○文化芸術活動の促進

誰もが文化芸術を身近に接する機会や活動する場と機会の充実に努めます。

多様で幅広い分野との連携を図りながら文化芸術を中心とした地域の活性化を推進します。

○文化財の保護・調査・活用

地域の暮らしのなかで守られ、継承されてきた文化財を、先人の知と技の結集と捉え、貴重な地域文化として活用するとともに、その調査・研究と保護・保存の推進を図ります。

○スポーツ・レクリエーションの振興

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツやレクリエーションに親しみ、交流を深め、心身ともに健康で明るく豊かな生活を送ることができるよう施策を推進します。

○図書館活動の充実

本と情報を仲立ちとして人が集い、つながり、新たな価値を創造する場となるよう、多様な情報・資料の提供に努めるとともに、図書館を拠点とした活動の支援を図ります。

○生涯を通じた学習活動の推進

誰もが生涯にわたり自分の意思で自由に学ぶことができる環境を整え、市民相互と地域のつながりと絆を育てます。

基本施策

【学校教育の推進】

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- 2 理数教育の充実
- 3 読書活動の推進と言語能力の育成
- 4 個に応じた支援の充実

基本施策Ⅱ 豊かな心の醸成

- 1 人権教育の推進
- 2 道徳教育の充実
- 3 体験活動の充実
- 4 健全育成の推進

基本施策Ⅲ 健やかな体の育成

- 1 体力向上の推進
- 2 学校給食・食育の充実
- 3 学校保健安全の推進

基本施策Ⅳ 輝く未来に向かって

- 1 幼・保・小・中が連携した教育の充実
- 2 日本の伝統・文化に関する教育の充実
- 3 学校、家庭、地域・社会との連携・協働
- 4 学校の教育力の向上
- 5 教育環境の整備
- 6 情報教育の推進
- 7 環境教育の推進
- 8 国際理解教育の推進
- 9 キャリア教育の推進

【生涯学習の推進】

基本施策Ⅰ 文化芸術活動の促進

- 1 文化芸術活動への支援
- 2 文化芸術に接する機会の充実
- 3 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進

基本施策Ⅱ 文化財の保護・調査・活用

- 1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進
- 2 文化財の活用と継承の支援

基本施策Ⅲ スポーツ・レクリエーションの振興

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進
- 2 スポーツ・レクリエーション環境の整備
- 3 人材の育成・地域交流の促進

基本施策Ⅳ 図書館活動の充実

- 1 多様な情報・資料の提供
- 2 図書館利用の促進
- 3 図書館を拠点とした活動の支援
- 4 誰一人取り残さない環境の整備

基本施策Ⅴ 生涯を通じた学習活動の推進

- 1 学習機会の提供
- 2 学習活動の支援
- 3 学習成果の活用

3 昭島市総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとなりました。

令和3年12月16日に開催された総合教育会議での協議を踏まえ、基本構想における、まちづくりの理念である「人間尊重」と「環境との共生」のもと、「教育に関する大綱」を定めました。

この大綱により、昭島市教育振興基本計画の確実な実現に努めます。

昭島市教育に関する大綱

基本構想における、まちづくりの理念である「人間尊重」と「環境との共生」のもと、本市の教育に関する大綱を次のとおり定めます。

- 市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進します。
- 子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、多様性を認め合い、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努めます。
- 学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう、自ら考え判断して行動する力を培い、国際的視野を広げ、豊かな心と健やかな体をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進します。
- 社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指します。
- 子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実に図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図ります。

第2章 教育委員会の組織及び活動状況

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

1 教育委員会の構成

令和6年3月31日現在

職 名	氏 名	任 期 期 間	期数
教 育 長	山 下 秀 男	令和4年4月1日から 令和7年3月31日まで	2期
委 員 (教育長職務代理)	紅 林 由紀子	令和3年6月24日から 令和7年6月23日まで	6期
委 員	氏 井 初 枝	令和2年4月1日から 令和6年3月31日まで	2期
委 員	松 本 芳 之	令和4年12月25日から 令和8年12月24日まで	1期
委 員	眞 如 むつ子	令和5年4月8日から 令和9年4月7日まで	1期

年度中に退任した教育委員

委 員	白 川 宗 昭	平成31年4月8日から 令和5年4月7日まで	2期
-----	---------	---------------------------	----

2 教育委員会事務事業を主管する組織

教育委員会

令和5年4月1日現在

部	課	係	主 な 分 掌 事 務
学 校 教 育 部	教育総務課	庶務係	・教育委員会の会議に関すること。 ・条例、規則及び規程に関すること。 ・予算及び経理に関すること。 ・事務局及び課内庶務に関すること等
		学務係	・学齢児童及び学齢生徒の就学並びに児童生徒及び幼児の入 学、転学及び退学に関すること。 ・通学区域に関すること。 ・学級編制に関すること。 ・児童及び生徒に係る就学奨励に関すること等
		施設係	・教育施設の建設計画に関すること。 ・教育機関の設置、管理及び廃止の手続きに関すること。 ・教育施設の新営工事及び維持修繕工事に関すること。 ・教育施設関係の補助金に関すること等
		GIGAスクール 推進担当	・学校の電子計算組織の管理及び運用に関すること。
	指導課	指導係	・指導事務予算に関すること。 ・教育計画事業の推進に関すること。 ・教科書採択に関すること。 ・教育振興基金に関すること等

部	課	係	主 な 分 掌 事 務
学 校 教 育 部	指導課	教職員係	・教職員の任免の内申その他人事に関する事。 ・教職員の服務に関する事。 ・教職員の給与、旅費、退職手当等に関する事。 ・教職員の福利厚生に関する事等
		特別支援教育係	・特別支援教育の推進に関する事。 ・教育相談及び適応指導に関する事。 ・就学、転学等の相談に関する事。 ・巡回相談に関する事等
		指導主事	・教育課程編成、実施に関する事。 ・教育施策の企画、実施に関する事。 ・校内研究等、教職員の研修に関する事。 ・学校教育に関する専門的事項の指導に関する事。
	学校給食課	庶務係	・学校給食の計画に関する事。 ・学校給食共同調理場において調理される学校給食に係る次の事務に関する事。 (1) 献立に関する事。 (2) 調理に関する事。 (3) 食品の管理に関する事。 (4) 衛生管理に関する事。 ・配送に関する事。 ・学校給食運営審議会に関する事。 ・業者登録に関する事等
		収納係	・学校給食費に関する事。 ・給食物資の支払いに関する事。
		自校給食担当	・給食調理施設を有する学校において調理される学校給食に係る事務に関する事。
		給食施設整備担当	・学校給食の施設整備に関する事。
生 涯 学 習 部	社会教育課	社会教育係	・社会教育及び生涯学習の総合調整に関する事。 ・社会教育及び生涯学習に係る行政相談に関する事。 ・社会教育関係団体の育成及び援助に関する事等
	スポーツ振興課	スポーツ振興係	・スポーツ推進委員に関する事。 ・生涯スポーツの推進に関する事。 ・関係団体との連携及び協働に関する事。 ・スポーツの指導者の研修に関する事。 ・総合スポーツセンターの管理及び運営に関する事等
	アキシマエンス管理課	管理係	・指定管理業務の評価・モニタリングに関する事。 ・図書の購入及び廃棄の決定に関する事。 ・学校等市内関係機関及び団体との連携調整に関する事。 ・図書館協議会に関する事。
		文化財係	・市史及び文化財の保護、調査に関する事。 ・郷土資料室の管理運営に関する事。
	市民会館・公民館	管理係	・市民会館・公民館の施設及び設備の維持管理に関する事。 ・市民会館・公民館の利用承認並びに使用料の徴収、付属設備等の使用料の免除及び還付に関する事。 ・市民会館・公民館の庶務に関する事。 ・市民会館の自主文化事業に関する事等
		事業係	・公民館運営審議会の庶務に関する事。 ・各対象別、課題別講座等の開設に関する事。 ・討論会、展示会、音楽会、美術展その他の集会に関する事。 ・公民館事業に係る情報収集及び提供に関する事等

3 教育委員会の会議

I 総合教育会議（企画政策課所管）

開催日	議 題
令和6年3月22日	スクールロイヤーの導入について

II 教育委員会の活動情報

① 教育委員会開催状況

定例会：12回 臨時会：2回

② 審議事項

ア	議決事項（議案）	19件	
イ	協議事項（協議題）	7件	
ウ	報告事項（説明あり）	82件	
エ	報告事項（資料配布のみ）	44件	※説明を省略し、資料配布のみとした案件

会議の付議案件と結果は下表のとおり

開催日	議案 番号等	件名	結果
令和5年 4月20日	10号	昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について	可決
	11号	昭島市社会教育委員の委嘱について	可決
	12号	昭島市公民館運営審議会委員の委嘱について	可決
	協議	昭島市学校運営協議会の設置について	承認
5月18日	13号	昭島市学校運営協議会委員の任命について	可決
	14号	令和5年度昭島市青少年教育協力者感謝状被贈呈者について	可決
7月20日	15号	昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について	可決
	16号	昭島市民図書館協議会委員の委嘱について	可決
	協議	「昭島市教育委員会 部活動の在り方に関する方針（案）」について	承認
8月10日	17号	令和6年度昭島市立学校で使用する教科用図書の採択について	可決
	協議	昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書（令和4年度分）について	承認
9月8日	協議	令和5年度に発生した昭島市立小学校在籍児童の被暴力行為に係る第三者委員会による調査の申入れについて（非公開）	承認
9月14日	18号	昭島市社会教育委員の委嘱について	可決
10月19日	19号	昭島市教育委員会表彰被表彰者について	可決
	20号	昭島市奨学金等支給条例に基づく奨学生の決定について（非公開）	可決
11月7日	協議	「昭島市いじめ問題調査委員会調査報告書」について（非公開）	承認
11月16日	21号	令和6年度昭島市立学校における教育課程編成基準について	可決

開催日	議案 番号等	件名	結果
令和6年 1月18日	協議	昭島市学校運営協議会の設置について	承認
2月15日	1号	令和6年度昭島市公立学校長等の任命に関する内申について (非公開)	可決
	協議	令和5年度昭島市立学校卒業式における告辞及び令和6年度昭島市立学校入学式におけるお祝いの言葉について	承認
3月21日	2号	昭島市教育委員会表彰被表彰者について	可決
	3号	昭島市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則	可決
	4号	令和6年度昭島市立学校の教育課程の受理について	可決
	5号	昭島市学校給食の実施に関する規則	可決
	6号	昭島市青少年委員の委嘱について	可決
	7号	昭島市スポーツ推進委員の委嘱について	可決

4 教育委員会の活動

I 教育委員の活動

教育委員は、学校の状況を把握し、教職員と情報共有するために、学校訪問や学校行事への出席のほか、校長会との意見交換会を開催しています。また、東京都教育委員会や近隣市との情報交換、情報共有を行うほか、研修会へ参加し、識見を高め、教育施策の決定等への反映に努めています。

(1) 教育委員の学校訪問、校長会との意見交換会、学校行事への参加

事業名	実施日	訪問先
校長・副校長・教職員辞令伝達式、 臨時校長会	令和5年 4月3日	市役所 市民ホールほか
入学式	4月6日・7日	各小・中学校
学校訪問	5月18日	拝島第一小学校、福島中学校
学校訪問	11月1日	玉川小学校、光華小学校
昭島市研究指定校研究発表会	11月17日	光華小学校
特別支援学級合同学習発表会	令和6年1月13日	FOSTERホール
市立小中学校長との情報交換会	1月18日	市役所 402・403会議室
成隣小学校150周年記念式典	1月19日	成隣小学校
昭島市研究指定校研究発表会	1月31日・2月9日	拝島第二小学校、玉川小学校
卒業式	3月18日・25日	各小・中学校

その他、各校の音楽会、展覧会及び運動会などに参加しています。

(2) 教育委員の教育委員会関係行事への参加

事業名	実施日	開催場所
昭島市教育委員会表彰式	令和5年 4月2日	市役所 市民ホール
昭島市育英会	5月18日	市役所 203会議室
「未来をひらく」発表会	9月9日	市役所 市民ホール
昭島市教育委員会表彰式	11月3日	市役所 市民ホール
昭島市はたちのつどい～20celebration～	令和6年 1月8日	フォレスト・イン昭和館
食育シンポジウム	1月25日	市役所 市民ホール

その他、教育委員会主催事業や後援事業に参加しています。

(3) 教育委員の会議

事業名	実施日	開催場所
東京都市町村教育委員会連合会 令和5年度第1回常任理事会及び理事会	令和5年 4月28日	東京自治会館 第7会議室 ほか
東京都市町村教育委員会連合会第67回定期総会	5月31日	東京自治会館 講堂
関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会	5月26日	加須文化・学習センター 「パストラルかぞ」
東京都市町村教育委員会連合会 令和5年度第1回研修推進委員会	6月30日	東京自治会館 第7会議室
東京都市町村教育委員会連合会 令和5年度第2回研修推進委員会	8月1日	東京自治会館 第7会議室
東京都市町村教育委員会連合会 令和5年度第2回常任理事会及び理事会	8月24日	東京自治会館 第7会議室 ほか
東京都市町村教育委員会連合会 令和5年度第3回常任理事会及び理事会	令和6年 1月16日	東京自治会館 第7会議室 ほか

(4) 教育委員の研修

事業名	実施日	内 容
関東甲信越静市町村教育委員会連合会研修会	令和5年 5月26日	(1)演題 GIGAスクールの今後に期待するもの 講師 文部科学省初等中等教育局学校デジタル化 プロジェクトチーム 課長補佐 渡辺 洋平 氏 (2)演題 球道即人道 ～野球から学んだ人生への取り組み方～ 講師 野球解説者 宮本 慎也 氏
教育施策連絡協議会	オンライン 配信 (4月21日 ～5月31日)	(1)演題 デジタルを活用したこれからの授業モデル 講師 東京学芸大学教育学部 教授 高橋 純 氏 (2)演題 教職員の創造性と働きがいをもつ学校づくり 講師 公益財団法人東京学校支援機構 理事長 坂東 真理子 氏

事業名	実施日	内 容
市町村教育委員会教育 長・教育委員研究協議会	6月29日 9月7日 令和6年 2月9日	・分科会形式でグループ協議を実施 1 学校における働き方改革について 2 部活動のあり方について 3 いじめ対策・不登校支援について 4 地域と学校の連携・協働について
東京都市教育長会研修 会	7月25日	演題 発展途上国の寄生虫症研究と対策 講師 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所 石上 盛敏 氏
東京都市町村教育委員 会連合会第1回理事研 修会	8月24日	演題 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充 実」と教員に求められる資質能力 講師 東京都多摩教育事務所 指導課長 吉成 嘉彦 氏
東京都市町村教育委員 会連合会第1回研修会	10月6日	演題 子どもを幸せにする睡眠と生活習慣とは？ 講師 (1)文教大学教育学部特別支援教育専修教授 成田 奈緒子 氏 (2)「子どもが幸せになる正しい睡眠」の共著者、 公認心理師 上岡 勇二 氏
東京都市町村教育委員 会連合会第1ブロック 研修会	10月26日	演題 多摩の教育とその取組-あきる野市の事例から- 講師 あきる野市文化財保護審議会委員 溝口 重郎 氏
東京都市町村教育委員 会連合会第4ブロック 研修会	10月27日	「アキシマエンス」(昭島市教育福祉総合センター) 施設概要説明、内覧
東京都市町村教育委員 会連合会第2ブロック 研修会	10月31日	演題 学力向上施策は、なぜ不登校児童生徒を増やす のか 講師 東京大学大学院教育学研究科バリアフリー教育 開発研究センター長 教授 小国 喜弘 氏
東京都市町村教育委員 会連合会第2回理事研 修会	令和6年 1月16日	演題 教育行政の現状と課題 講師 東京都多摩教育事務所 所長 小島 貴弘 氏
東京都市町村教育委員 会連合会第2回研修会	2月29日	講演 子供たちの学び—これまでとこれから 講師 文部科学省初等中等教育局 主任視学官 宮崎 活志 氏

第3章 主要施策の点検及び評価

第3章 主要施策の点検及び評価では、『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』に掲載している「主な取組」をすべて評価したうえで、評価基準を設け施策ごとの評価を決定しました。そのうち、評価対象年度における重点取組を、本報告書に掲載しています。また、評価対象年度における実績と課題を総括するとともに、分かりやすく記載し、次年度の取組の方向性を示すこととしました。

また、各施策ごとに外部評価員にいただいた総合評価と意見を掲載しました。

評価シートの見方

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

基本施策Ⅰ－Ⅰ	担当課	指導課、教育総務課、学務担当
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		

施策の方向性

『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』より、施策の方向性を掲載しています

主な取組【担当課】		取組実績
1	評価対象年度における主な取組を選定しています	評価対象年度の取組実績を記載しています
2		

自己評価		評価理由
	A… 施策の方向性以上の成果がでている	教育委員会にて自己評価を実施し、その理由を記載しています
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
評価対象年度の取組に対する主な課題を記載しています		
今後の取組の方向性		
今後の取組の方向性を記載しています		

（参考資料） 各施策・取組の評価や掲載内容に参考となる表や図、写真など資料を掲載しています

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	各小項目の自己評価を まとめて記載しています	各小項目の 掲載頁です	
2 理数教育の充実			
3 読書活動の推進と言語能力の育成			
4 個に応じた支援の充実			
政策指標			
授業 児童 (児童	『昭島市教育振興基本計画(令和4年度～令和8年度)』より、策定時の政策指標と 目標値を記載し、評価対象年度の指標値を記載しています		28年度 値 0% 0%

外部評価員による評価と意見		外部	この章の意見をいただいた外部評価員の氏名
外部評価員の総合評価を5段階で評価しています	外部評価員の総合評価		
	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
1 … 施策の推進に全く至っていない。			
外部評価員の意見			
外部評価員の意見を記載しています 各章の外部評価員の意見は、第4章で再掲載しています			

学校教育の推進

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

基本施策ⅠーⅠ	担当課	指導課
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		

施策の方向性
これからの変化の激しい時代を生き抜き、生涯にわたり主体的に学び続ける子どもたちを育成するためには、知識・技能の習得に加え、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等及び主体的に学習に取り組む態度を育むことが不可欠です。 子どもたちにこうした資質・能力を育成していくために、全ての教員が「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る指導方法の工夫・改善に取り組むとともに、少人数指導等きめ細かな指導の充実を図ります。 また、各学校はカリキュラム・マネジメントを通して、学校全体の取組として、質の高い「深い学び」を引き出していきます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	教職員の研修の充実【指導課】	若手教員(初任者・2年次・3年次)を対象に、学習指導や生活指導・進路指導、外部折衝力、組織貢献力の各項目についての研修を行った。特に、学習指導については、若手人材育成担当が授業観察を行い、その振り返りを行うことで授業力向上を図った。年度当初に、職層研修(新任副校長・新任主幹・新任主任)を行い、該当教員の組織貢献力を高め、校長の経営方針具現化を目指した。
2	若手教員の育成【指導課】	年間10回のセンター研修、年間5回の課題別研修、若手人材育成担当による年間3回の授業観察を実施した。東京都が定める学習指導力、生活指導力・進路指導力等の4つの身に付けるべき力の育成を図る研修を実施した。
3	大学との連携による授業改善の推進【指導課】	通常の学級は共成小と瑞雲中、特別支援学級(知的障害特別支援学級)は共成小と昭和中、特別支援教室はつつじが丘小、拝島第三小、瑞雲中において、大学教授等の有識者による授業観察を通して、個々の教員の課題を分析し、教員の資質と実践的指導力の向上に取り組んだ。また、12月には、各学校の取組の成果と課題を発表し、全校にオンラインで配信した。
4	教員におけるリーダー層の育成【指導課】	学校マネジメント講座を開催し、主任教諭2年目以上の教員が受講した。講師を市内管理職やミドルリーダーとし、各講師の取組実践に焦点をあてた講義を行った。所属校管理職の指導を受けながら、若手教員への的確な助言の実践を目指した。
5	土曜日・放課後補習の実施【指導課】	土曜補習教室は、小学校全校で8回、3校の中学校で、4～5回実施、放課後補習教室は、11校の小学校で7回程度、中学校では1校が4回実施し、学力の定着を図った。英検対策については受講希望者が多く、上位級を目指した取組となった。
6	教科用図書の採択【指導課】	小学校教科用図書選定資料作成委員会を発足させ、令和6年度から使用する「小学校教科用図書」を円滑に選定し、採択を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	職層に応じた研修や、大学との連携を行い、教員の授業力向上の一助となったため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び・協働的な学び」を充実させるとともに、今以上に、多様な学び方への対応を検討する必要がある。		
今後の取組の方向性		
若手教員育成研修に講師を招へいし、若手教員育成研修を充実させる。主幹教諭・主任教諭の研修については、各職層に応じた今日的な課題を取り上げ、その課題解決の手立てを構築できるような、人材の育成を目指す。		

(参考資料)

▼教職員の研修一覧

研修名	研修内容	人数
新任主幹教諭研修	主幹教諭としての役割	2
新任主任教諭研修	主任教諭としての役割	17
新任副校長研修	副校長としての役割	5
初任者研修	学習指導力、生活指導力等	25
2年次研修	学習指導力、生活指導力等	18
3年次研修	外部との連携・折衝力等	26

▼教科書採択の経過

日程	検討内容等
5月12日(金)	第1回教科用図書選定資料作成委員会にて、採択事務や調査研究について確認
5月22日(月)	調査研究部会説明会
5月下旬 ～6月下旬	各小学校に教科用図書の巡回展示及び各教科の調査研究部会において教科用図書の調査研究を行い、報告書を作成
5月下旬～6月中旬	市民からの意見公募
7月6日(木)	第2回教科用図書選定資料作成委員会にて、調査研究部会から調査研究の結果報告
7月14日(金)	第3回教科用図書選定資料作成委員会にて、調査研究部会から調査研究の結果報告・市民からの意見を参考に報告書について審議、教科用図書選定資料作成委員会としての報告書を作成
8月10日(木)	第8回教育委員会定例会にて、審議・採択

基本施策1-2	担当課	指導課
理数教育の充実		

施策の方向性
急速に技術革新する現代社会において、科学技術の分野で新たな価値を創造できる人材を育成するためには、子どもたちの理科や算数・数学への関心を高めるとともに、理数教育の一層の充実を図ることが必要です。 各学校において、理科、算数科・数学科の授業改善を行うとともに、地域資源を活用した理科、算数科・数学科授業の充実や、理科教育推進担当教員等の活用を図ります。

主な取組【担当課】	取組実績
I 地域資源の活用による授業の充実【指導課】	栽培活動や奉仕活動、がん教育や性教育、企業からの出前事業など、各学校において地域資源を活用した学習を計画的に実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校が地域の方々と連携して取り組んだ内容の実践が、児童・生徒の関心を高めることにつながったため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
学級園における植物の栽培に地域の人材や地域資源を活用するなど、理系教育の一層の充実を図り、理系離れが助長されないようにする必要がある。 地域資源を活用した取組について学校間で差があるため、市内の小中学校の好取組事例を共有する等、格差が無いように推進する必要がある。		
今後の取組の方向性		
地域人材や企業などの協力を学校が受けた後、その様子を市内の各学校に周知する場を設定し、市内各校に同様の取組を広げていく。		

(参考資料)

▼〈全国学力・学習状況調査の結果〉

調査対象：全小学校6年生及び全中学校3年生

実施日：令和5年4月18日

教科	教科別平均正答率					
	小学校		中学校			
	国語	算数	国語	数学	英語	
					(聞く・読む・書く)	(話す)
国平均	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6	12.4
都平均	69	67	72	54	52	
昭島市	67	62	68	50	45	10

※市や都の平均正答率は、平成29年度から整数位での公表

各教科の分析
各教科において、全国や東京都よりも平均正答率が下回っており、小中ともに、自分の考えを書いたり、説明したりすることに課題が見られた。国語科では、図表を用いて相手に分かりやすく説明したり、算数・数学については、説明に必要な情報を適切に見出したりして、根拠を明確にしながら表現する力を高める必要がある。また、英語については、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、聞く・読む・書く・話すのすべての領域において適切に指導する必要がある。

▼令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について(令和5年昭島市教育委員会第9回定例会 報告事項2)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/1000/840/20190718202135.html>

基本施策1-3	担当課	指導課
読書活動の推進と言語能力の育成		

施策の方向性
言語能力は、全ての学習の基盤となる資質・能力です。子どもたちの語彙を豊かにし、言語能力の育成を図るには、各教科等における言語活動の充実とともに読書活動の充実を図ることが大切です。 各学校で読書活動全体計画を作成し、学校図書館担当教員、司書教諭、学校司書及びボランティアなどが連携して、子どもたちの読書活動を一層推進します。 また、学校図書館と市民図書館の利用を促進し、読書活動を通して豊かな感性や情緒を育み、言語能力の育成を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	各教科等における言語活動の充実【指導課】	国語科を中心に言語能力を高める指導を行うとともに、各教科でペアやグループなど、様々な形態での話し合い活動を行い、児童・生徒が自身の考えを自分の言葉で表現できるように言語活動の充実に努めた。
2	子どもの主張意見文コンクールの開催【指導課】	小・中学校全校で取り組み、これからの昭島について考えたことを表現した。応募者数は1875編となった。審査委員会を2回開催し、小・中学校から各15点の入選作品を選定した。9月10日（土）に行った発表会では、111名の来場者があった。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校で読書活動や言語活動の推進を図った。また、「図書館を使った調べる学習コンクール」を活用し、市民図書館や学校図書館を活用した学習が一部の学校で推進された。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
学校図書館や市民図書館を活用した調べ学習による探究的な学びの実践を、更に多くの学校で計画的に取り組むことが課題である。		
今後の取組の方向性		
学校図書館担当教員、司書教諭、学校司書及びボランティアなどが連携して、子どもたちの読書活動を一層推進するとともに、調べる学習の更なる取組の推進を図るために、学校図書館と市民図書館の利用の促進を図る。		

（参考資料）

▼学校図書館図書整備状況、貸出状況

	令和4年度	令和5年度				
	蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	蔵書冊数	1人あたりの貸出冊数
小学校	179,958	4,702	1,160	△ 2,729	183,091	41.8
中学校	83,109	2,439	216	△ 1,103	84,661	5.6

【第41回子どもの主張意見文コンクール】

(小学校の部)

最優秀賞「地産地消を目指して～カブとの出会い～」

(中学校の部)

最優秀賞「地域力がある町と猫」



▲「未来をひらく」子どもの主張意見文コンクール入賞者

◀「第41回子どもの主張意見文コンクール作品集」

「子どもの主張意見文コンクール」の入賞作品は冊子にまとめて、入賞者や学校、関係者に配布しています。昭島市民図書館や市役所の行政資料コーナーで閲覧ができます。

【図書館を使った調べる学習コンクール】

▼図書館を使った調べる学習コンクール(公益財団法人図書館振興財団主催コンクールのホームページ)

<https://concours.toshokan.or.jp/>

▼図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマ の結果発表(昭島市民図書館ホームページ)

<https://www.library.akishima.tokyo.jp/event/?id=467>

▼調べる学習に取り組む児童の様子



▼作品例



基本施策1-4	担当課	指導課、学務担当
個に応じた支援の充実		

施策の方向性
子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、もてる力を高め、生活や学習上の困難さを改善又は克服するためには、適切な指導及び必要な支援を行い、基礎的な学力を伸ばしていく必要があります。 各学校は、インクルーシブ教育の理念に基づき、障害のあるなしに関わらず、子どもたち一人ひとりの自立と社会参加に向けた効果的な指導・支援の充実を図るために、全ての教員の特別支援教育への理解を深め、授業のユニバーサルデザイン化、個別指導など、多様な指導方法の工夫を図ります。 また、経済的な理由により就学困難な子どもたちの保護者に、必要な援助を行い、教育の機会均等の保障に努めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	教員研修の充実【指導課】	共生社会の実現に向けた特別支援教育の理解を深めるため、特別支援教室全体研修として、日本臨床発達心理士会茨城支部支部長 大六 一志氏による「発達検査の読み取りと活用」の講演を行った。
2	特別支援教育の啓発活動の推進【指導課】	共生社会を目指し、特別支援教育の理解が保護者や市民に広がるよう、市民向け講演会として、7月に東京家政大学名誉教授 相馬 誠一氏による「不登校やひきこもり状態になりつつある子供に今親ができること」、10月に島田療育センターはちおうじの福田あゆみ氏による「発達特性のある子の支援～子どもの強みを見つけて育てたい～」の講演を行った。
3	特別支援教室における指導の充実【指導課】	つつじが丘小、拝島第三小、瑞雲中の特別支援教室において、明星大学客員教授 菅原 真弓氏による特別支援教室巡回指導教員を対象とした研修を各校年7回実施し、児童・生徒の実態把握を基にした授業づくりについて学んだ。
4	特別支援学級における指導の充実【指導課】	共成小及び昭和中の知的障害特別支援学級において、教職大学院准教授 増田 謙太郎氏による特別支援学級担任を対象とした研修を各校年3回実施し、個別最適な学びによる授業改善について学んだ。
5	日本語指導の実施【指導課】	各学校からの依頼を踏まえて、日本語を母語としない児童・生徒に、日本語指導員を児童・生徒一人につき計35回派遣し、日本語の基礎や学校での生活について指導した。
6	就学援助の実施【学務担当】	小学生787名、中学生445名に対し、1億869万5,664円の援助を行った。（援助率は小学校13.9%、中学校16.9%）また、給付型奨学金の定員数及び支給額を拡充し、高等学校等入学予定者15名に合計120万円の入学準備金と、昨年度までに採用した奨学生22名に合計370万7,200円の奨学金を給付した。
7	特別支援教育就学奨励の実施【学務担当】	特別支援学級や通級指導教室に在籍する小学生57名、中学生35名に対し、463万3,361円の就学奨励費の支給を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	特別支援教育に関する市民向け講演会を実施し、理解・啓発を推進できたため。また、特別支援教育に係る教員研修を実施し、授業力向上を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
特別支援教室及び特別支援学級教員の更なる専門性及び授業力向上が課題である。今年度の研修の成果を踏まえた授業改善の見直しを行う必要がある。また、日本語指導を真に必要なとする児童・生徒の早期の把握及び対応が重要である。
今後の取組の方向性
共生社会の実現に向けて、引き続き市民のニーズに応じた内容の講演会を実施していく。また、特別支援教室及び特別支援学級の教員を対象とした研修では、大学教授などの専門性の高い講師による講義を実施し、実践的に活用できる技術を身に付けていく。

(参考資料)

▼特別支援教育に関する市民向け講演会参加人数

開催日	講師	事業名	参加人数
7月29日	東京家政大学名誉教授 相馬 誠一氏	不登校やひきこもり状態になりつつある子供に 今親ができること	45名
10月21日	島田療育センターはちおうじ 福田 あゆみ氏	発達特性のある子の支援 ～子どもの強みを見つけて育てたい～	46名

▼日本語指導員による指導を受けている児童・生徒数

言語	小学校	中学校
中国語	4	2
英語	7	1
ネパール語	4	
タイ語	1	
タガログ語	1	
ベンガル語	2	
ウクライナ語		1
ロシア語		1

▼就学援助費支給状況【取組6 就学援助の実施】

支給項目	小学校			中学校		
	支給児童数	支出額	1人平均額	支給生徒数	支出額	1人平均額
学用品費・通学用品費	738	9,440,705	12,792	402	9,327,205	23,202
新入学学用品費	42	2,270,520	54,060	128	1,044,000	8,156
新入学準備金	80	4,324,800	54,060	131	8,253,000	63,000
移動教室費／修学旅行費	134	3,391,792	25,312	138	8,399,555	60,866
校外活動費	641	1,372,029	2,140	298	1,197,993	4,020
宿泊学習費	146	2,973,024	20,363	160	6,762,514	42,266
通学費	7	160,183	22,883	2	74,040	37,020
柔道着購入費				79	470,000	5,949
学校給食費	738	30,292,162	41,046	396	18,923,832	47,787
医療費	18	14,110	784	5	4,200	840
合計支出額	54,239,325			54,456,339		

就学援助制度について(トップページ＞子育て・教育＞学校教育＞就学支援＞令和6年度就学援助制度のお知らせ)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s113/020/010/030/010/20170328103145.html>

▼就学奨励費支給状況【取組7 特別支援教育就学奨励の実施】

支給項目	小学校			中学校		
	支給児童数	支出額	1人平均額	支給生徒数	支出額	1人平均額
学用品費・通学用品費	47	315,415	6,711	33	397,745	12,053
新入学学用品費	7	189,210	27,030	13	409,500	31,500
移動教室費／修学旅行費	6	78,859	13,143	9	259,978	28,886
校外活動費	45	37,384	831	29	37,225	1,284
宿泊学習費	20	67,219	3,361	29	319,843	11,029
通学費	13	383,175	29,475	9	365,788	40,643
学校給食費	47	983,885	20,934	32	788,135	24,629
合計支出額	2,055,147			2,578,214		

就学奨励費制度について(トップページ＞子育て・教育＞学校教育＞就学支援＞就学奨励費制度)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s113/020/010/030/040/20170829170016.html>

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ				自己評価	該当頁		
1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進				B	17,18		
2 理数教育の充実				B	19		
3 読書活動の推進と言語能力の育成				B	20,21		
4 個に応じた支援の充実				B	22,23		
政策指標							
授業に対して、すすんで取り組んでいると回答した児童・生徒の割合 (児童・生徒アンケート)			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 目標値	
			小学校	90.0%	91.0%	92.0%	92.0%
			中学校	89.0%	90.0%	89.0%	90.0%

外部評価員による評価と意見		外部評価員	花田 茂
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
Society 5.0時代における学びの在り方の変革に向けて、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を確実に習得させつつ、個人の進度や能力、関心に応じた学びの場の提供など、「確かな学力の定着」に向けて、児童・生徒が主体的に学び続けられる施策を着実に実施している。児童・生徒が自らの可能性を発揮できるように「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実すること、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域人材を含めた地域の教育資源を有効に活用し、学校教育を展開すること、多様化する児童・生徒の状況に応じて、市民への啓発活動をはじめ、特別支援教育の推進、就学に関して支援すること等、きめ細かな対応により、一定の成果が表れている。 特に言語能力の育成に向けて、各校の授業における取り組みの充実、市民図書館との連携、「子供の主張意見文コンクール」の実施など、文章や情報を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力の育成に向けて実績を上げている。 一方、学習指導要領が求めている主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、教員の資質向上は重要である。教員採用選考の倍率低下、ベテラン教員の退職に伴う若手教員の増加は、教育水準を確保する上で課題となる。今後も研修計画に基づいて教員研修の充実を図り、教育水準の確保に尽力いただきたい。			

基本施策2 豊かな心の醸成

基本施策2-1

担当課

指導課

人権教育の推進

施策の方向性

全ての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、一人ひとりの子どもたちに人権尊重の精神を育むことが不可欠です。

各学校では、あらゆる偏見や差別をなくすために、「人権教育プログラム」の活用や、人権尊重教育推進校の研究成果等を基に、教育活動全体を通して子どもたちに人権尊重の精神の育成を図る人権教育を推進します。

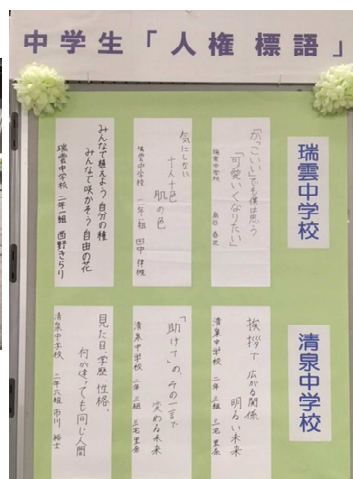
主な取組【担当課】		取組実績
1	人権教育の推進【指導課】	9月に、各小・中学校の人権教育推進担当教諭、昭島市人権教育推進委員、中堅教諭等資質向上研修対象者を対象に、大学教授を講師とした人権教育研修を開催した。また、各学校1名の人権教育担当教員が、小平市立第九小学校及び国立市立第二中学校の人権教育推進校研究発表会に参加し、人権教育の理解促進に努めた。
2	人権パネル展・人権標語の取組【指導課】	12月に市役所1階ロビーにおいて、人権パネル及び人権標語の展示を行い、各小・中学校の人権教育に係る取組について紹介した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	人権教育推進委員会や、人権パネル展、人権標語の作成など、学校全体の人権感覚向上に資する取組を実施し、人権尊重の精神を育むことができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
従前より取り組んできた人権課題だけでなく、新たな人権課題についても解決に向けた知識の拡充や態度の育成を図り、人権感覚を常に向上させていく必要がある。		
今後の取組の方向性		
人権感覚を向上させるため、人権教育に関する研修内容の充実を図るとともに、人権教育推進委員会を通して各学校での取組を共有するなど、小・中学校全校で連携した取組を行う。		

＊新たな人権課題…「個人情報の流出やプライバシーの侵害」「感染症に関連する偏見や差別意識の解消に向けて」

(参考資料)

▼人権パネル展の様子



基本施策2-2	担当課	指導課
道徳教育の充実		

施策の方向性 子どもたちが、自他の生命の尊重、規律ある生活等、将来、社会において生きていく上で求められる道徳的価値や人間としての生き方に関する意識を深めるために、「道徳授業地区公開講座」等を工夫しながら、学校・家庭・地域、関係機関との連携の下、道徳教育の充実、改善を図ります。 「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」という。）においては、発達段階に応じて、答えが一つではない道徳的な課題を、一人ひとりの子どもたちが自分自身の問題と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」への転換を図ります。 各学校における道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、道徳教育推進教師を中心に、各教科等における道徳教育との密接な関連を図りながら、計画的、発展的に道徳的価値や人間としての生き方について自覚を深めさせ、道徳性を高めます。
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	道徳授業の充実【指導課】	各小・中学校において、全教育活動の中で、道徳教育を推進するとともに、道徳科の授業を定められた時間数行うことで、道徳性を高める指導を行うことができた。
2	道徳授業地区公開講座の充実【指導課】	道徳授業地区公開講座の実施形態を工夫しながら、保護者や地域の方と児童・生徒の道徳性の育成について議論することができた。また、各学校の道徳教育に係る取組を発信することができた。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校で工夫を重ねながら、道徳教育の推進を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
道徳教育において重点項目を設定し、道徳科の授業では、教科書等を用いて学習を進めているが、児童・生徒が、自分自身の問題と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」への転換については、さらに工夫を重ねていく必要がある。		
今後の取組の方向性		
年間指導計画を活用した系統的な指導、教科等横断的な視点での授業改善、ICTの効果的な活用等により、道徳科の授業の質的向上を図る。		

（参考資料）

▼授業例（共成小学校 人権擁護委員 榊 かおる氏による特別授業「命の教室」）



聴診器を使って自分の耳で命の音を聞く

ハートの紙を心に見立て、心の傷について考え学ぶ



基本施策2-3	担当課	指導課
体験活動の充実		

施策の方向性
子どもたちを地域の自然や歴史、文化等に直接触れる郷土学習や、福祉の心を育てるボランティア活動等に参加させるとともに、小学校での移動教室、中学校での職場体験や修学旅行などを通し、子どもたちの発達段階に応じた体験活動の充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	小学校における移動教室の実施【指導課】	各小学校が、第5学年においては、1泊2日のハケ岳移動教室、第6学年においては、2泊3日の日光移動教室を実施した。
2	中学校移動教室・修学旅行の実施【指導課】	各中学校が、第1学年においては、新潟・長野方面に2泊3日のスキー移動教室、第3学年においては、京都・奈良方面に2泊3日の修学旅行を実施した。
3	小・中学校における生産体験の実施【指導課】	勤労の尊さや生産の喜びを体得するために、学校農園や近隣の農園、田んぼ等を活用して、生産活動を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	全校、移動教室や修学旅行を実施することができたため。また、地域人材を活用して、学級農園や近隣の田畑を活用した取組の充実を図ったため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
移動教室、修学旅行、生産体験などの体験活動の充実を図り、よりよい人間関係を築く体験を積み重ねることが必要である。なお、体験活動の充実にあたっては、学校の特色に応じるとともに、児童・生徒の発達段階に応じるようにしていくことが重要になる。		
今後の取組の方向性		
移動教室、修学旅行は、各小・中学校において実施していく。また、実地踏査において十分な情報収集を行い、安全かつ充実した活動ができるよう、各小・中学校が実施計画を立てる。		

(参考資料)

▼移動教室実施日

第5学年(ハケ岳方面)

東小学校	6月8日～6月9日
共成小学校	6月2日～6月3日
富士見丘小学校	5月18日～5月19日
武蔵野小学校	6月2日～6月3日
玉川小学校	6月15日～6月16日
中神小学校	5月26日～5月27日
つつじが丘小学校	6月21日～6月22日
光華小学校	6月22日～6月23日
成隣小学校	6月29日～6月30日
田中小学校	6月28日～6月29日
拝島第一小学校	6月8日～6月9日
拝島第二小学校	6月1日～6月2日
拝島第三小学校	6月26日～6月27日



第6学年(日光方面)

東小学校	5月21日～5月23日
共成小学校	5月18日～5月20日
富士見丘小学校	6月5日～6月7日
武蔵野小学校	5月21日～5月23日
玉川小学校	6月4日～6月6日
中神小学校	6月11日～6月13日
つつじが丘小学校	7月10日～7月12日
光華小学校	5月28日～5月30日
成隣小学校	5月25日～5月27日
田中小学校	5月18日～5月20日
拝島第一小学校	5月28日～5月30日
拝島第二小学校	5月23日～5月25日
拝島第三小学校	6月11日～6月13日



中学校 第1学年スキー教室(新潟・長野方面)

昭和中学校	2月4日～2月6日
福島中学校	1月30日～2月1日
瑞雲中学校	1月28日～1月30日
清泉中学校	1月24日～1月26日
拝島中学校	1月14日～1月16日
多摩辺中学校	1月17日～1月19日



中学校 第3学年 修学旅行(京都・奈良方面)

昭和中学校	9月20日～9月22日
福島中学校	9月20日～9月22日
瑞雲中学校	10月4日～10月6日
清泉中学校	10月2日～10月4日
拝島中学校	9月3日～9月5日
多摩辺中学校	9月6日～9月8日



基本施策2-4	担当課	指導課
健全育成の推進		

学校の、全ての子どもたちが安心して学び、楽しく学校生活を送ることができる場であることが最も大切です。そのため、教育活動全体を通して、いじめは絶対に許されない行為であることを、子どもたち一人ひとりに徹底して指導し、いじめを生まない、許さない学校・学級づくりを推進するために、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等の対策を強化します。また、いじめ問題対策委員会、いじめ問題防止会議において、いじめ問題について協議し、いじめ対策に生かしていきます。 不登校及び不登校傾向にある子どもたちに対し、教育支援室（たまがわ教室、もくせい教室）において、社会的自立に向けた支援を行います。また、不登校等の悩みを抱える子どもたちと保護者への支援に向けて、心理士やスクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）の連携を強化し、教育相談体制の充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	いじめ問題対策委員会の開催【指導課】	昭島市いじめ防止対策推進基本方針に基づき、7月と12月に委員会を開催した。警察や弁護士等からの調査協力における学校の対応や、校内におけるSNSトラブルの対処法について、学校の取組実践事例を基に、専門家から指導・助言をいただき、生活指導主任会等で共有し、学校ごとに生かした。
2	いじめ問題防止会議の開催【指導課】	昭島市いじめ防止対策推進基本方針に基づき5月、12月、3月に開催し、いじめ防止に係る協議を行った。小・中校長会長や人権擁護委員、PTA関係者、民生児童員、自治会関係者に参加を依頼し、各担当からの視点で意見をいただき、啓発資料の検討及び作成を行った。啓発資料は学校、地域、保護者に周知し、いじめ防止に関する取組の推進を図った。
3	いじめに関する学校における取組の実施【指導課】	各小・中学校において、「学校いじめ対策委員会」を定期的に開催するとともに、必要に応じて臨時開催することで、いじめの早期発見や早期対応に努めた。また、年3回以上の「いじめに関する研修」、「いじめに関する授業」、「いじめ防止アンケート」を実施し、中学校生徒による「いじめ防止ポスター」の作成では、各学校への配布、自治会掲示板への掲示などの取組を行った。
4	「SOSの出し方に関する教育」の確実な実施【指導課】	「SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料」（平成30年2月東京都教育委員会）等を活用した「SOSの出し方に関する教育」の授業を、各小・中学校いずれかの学年で実施し、子どもが悩みを抱えたときに助けを求めること等の指導を行った。
5	教育支援室の指導体制と指導内容の充実【指導課】	教育支援室に小学生22名、中学生25名が通室した。通室児童・生徒に対して、個別指導や小集団指導を継続的に行い、学校復帰及び上級学校への進学、社会的自立を目指した。
6	スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）の派遣【指導課】	スクールソーシャルワーカー3名を教育福祉総合センターに配置し、子どもや保護者など家庭にかかわるトラブルに、円滑に対応できる体制をとった。関係機関とのケース会議に、要請に応じて出席し、支援を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	いじめ問題対策委員会では、専門家から法に基づいたいじめ対応についての意見、助言を受けた。また、いじめ問題防止会議では、地域や保護者の意見を取り入れた啓発資料を作成し、取組を推進した。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
各学校でのいじめの未然防止に努め、早期発見、早期対応、継続した見守りを徹底する必要がある。発達支持的生徒指導による各教科の生活指導を充実させる。また、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、相談体制を常に維持し続けることが課題である。		
今後の取組の方向性		
いじめ、不登校の対応について、家庭を含む関係機関と、より一層の連携を図り、取組を推進していく。校内別室指導や教育支援室が不登校児童・生徒にとって安心できる居場所となり、学校復帰や自立のきっかけとなるよう随時環境や指導内容を見直していく。		

＊発達支持的生徒指導

全ての児童・生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導。児童・生徒への挨拶、声かけ、励まし、称賛、対話、授業や行事等を等を通した個と集団への働きかけなど。

(参考資料)

▼教育支援室児童・生徒在籍状況

区分	小学校	中学校	合計
人数	22	25	47

【いじめ防止ポスター】



▼教育支援室のご案内(一部抜粋)



Q 教育支援室とは、どのような教室ですか?

市内に在学している小・中学生で、学校に行けずに悩んでいる児童・生徒の登校や社会的自立を支援する教室です。

Q 教育支援室は、どこにあるのですか?

小学生を対象とする「たまがわ教室」及び中学生を対象とする「もくせい教室」は教育福祉総合センター(アキシマエンシス)校舎棟2階にあります。

＜案内図＞

案内図: アキシマエンシス(教育福祉総合センター)、KOTORIホール(市民会館)・公民館、瑞雲中学校、昭島駅、立川、拝島。

基本施策2 豊かな心の醸成

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ				自己評価	該当頁
1 人権教育の推進				B	25
2 道徳教育の充実				B	26
3 体験活動の充実				B	27,28
4 健全育成の推進				B	29,30
政策指標					
困ったことがあったら、相談してみようと思う大人がいる と回答した児童・生徒の割合 (昭島市立学校の児童・生徒アンケート)			令和3年度	令和4年度	令和5年度
			令和8年度 目標値		
小学校			86.0%	90.0%	89.0%
中学校			79.0%	83.0%	85.0%

外部評価員による評価と意見		外部評価員	花田 茂
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
学習指導を担う教員が同時に生徒指導の主たる担い手にもなるという日本型学校教育の特徴を生かし、創意工夫のある教育活動が実現されている。その根底には、児童・生徒の個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達を支えるという理念が施策に裏付けられている。 12月の人権週間を踏まえての人権パネル展の継続、特別な教科、道徳の「考え・議論する道徳」の視点からの授業改善、移動教室・修学旅行の体験活動の充実、学校教育と福祉行政の連携強化など、児童・生徒の「豊かな心の醸成」に寄与する施策として展開されている。 また、発達支持的生徒指導の考え方にに基づき、いじめ防止、不登校対策等の生徒指導上の個別の課題に丁寧に取り組んでおり、一定の成果が出ていると評価できる。しかし児童・生徒が今後も安心して学校生活を送り、学校が居心地のよい場所として機能するためには、引き続き、関係機関とも連携を図りながら児童・生徒の目線に立った施策を確実に進めていただきたい。			

基本施策3 健やかな体の育成

基本施策3-1 担当課 指導課、教育総務課

体力向上の推進

施策の方向性

子どもたち一人ひとりが健やかな体をつくり、健康で安全な生活を送ることができるよう、学校・家庭・地域が連携した体力向上策を推進します。

各学校では、東京都の「アクティブプランto2020（総合的な子どもの基礎体力向上方策（第3次推進計画）」に基づき、体力向上に関わる目標や、具体的な取組内容を定めた体育・健康に関する全体計画を策定し、計画的に体力の向上を図ります。

また、体育・健康に関する指導を、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	体育・保健体育の授業の充実【指導課】	令和4年度に拝島第二小においてコーディネーショントレーニング地域拠点校普及研修会を実施した。それを基に令和5年度は各学校においてコーディネーショントレーニングを活用した体力向上の取組を推進した。
2	グッドモーニング60分の取組【指導課】	各学校で、長期休業日明けにグッドモーニング60分の内容を踏まえた指導を行い、生活リズムを整える指導を行った。また、小学校教育研究会保健部会では、グッドモーニング60分の取組に係る研究を行い、2月の総会に取組の発表を行い、全小学校の取組成果の共有を図った。
3	中学校における運動系部活動参加の推進【指導課】	各中学校において、生徒一人一人の特性を生かして部活動に加入できるよう、校内体制を整えた。また、それぞれの運動部活動の特性を生かして、生徒一人一人の心身の成長を目指して活動を行った。
4	部活動指導員、部活動指導補助員の充実【指導課】	部活動指導員、部活動補助指導員の配置により、生徒の部活動への意欲と技術力の向上を図った。また、指導員の配置が、教員の業務負担の軽減と働き方改革の推進につながった。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校の体力向上の取組や、中学校部活動の取組により、児童・生徒の体力向上に対する意識を高めることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

市の体力調査の結果は、小学校・中学校全国平均、都平均よりも低い結果であった。「元気アップガイドブック」を活用した授業の実施や、コーディネーショントレーニングを取り入れた指導等を行い、児童・生徒の体力向上を図る。コロナ禍で体を動かす機会が制限されたため、「運動やスポーツをすることが好き」という中学生の割合が低下している。また、運動部活動が生徒にとって充実したものとなっているかどうかの把握が重要である。

今後の取組の方向性

体力調査の結果を踏まえ、体力向上を図る取組を計画的に実施する。各学校で中学校部活動については、「昭島市立中学校に係る運動部活動の方針」に基づき、適切に運営していく。また、中学校部活動の地域連携・地域移行を踏まえ、部活動指導員を活用し、運動部活動の指導の充実を図るとともに、教員の長時間勤務の解消に努めていく。

(参考資料)

▼令和5年度東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査結果

調査対象：小学校全学年及び中学校全学年

実施日：令和5年5月

体格及び体力・運動能力調査結果平均値(昭島市)

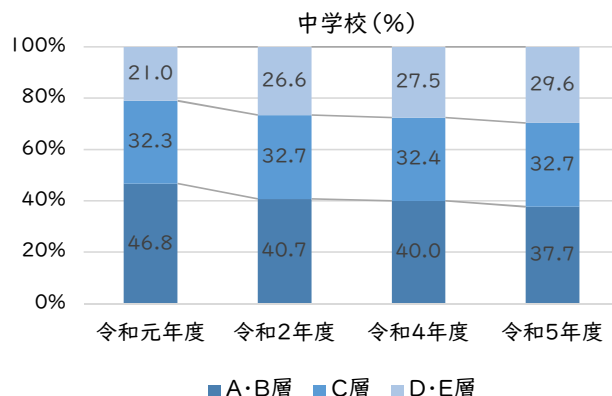
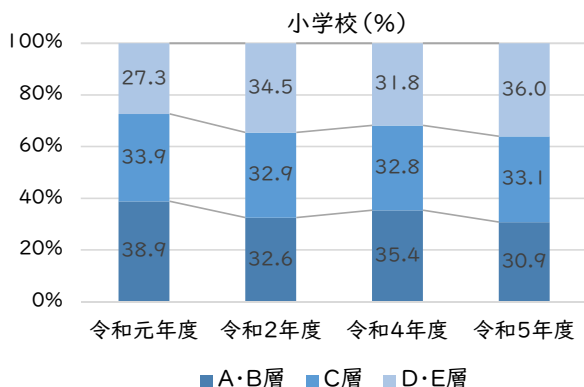
	性別	学年	人数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)	シャトルラン (回)	50M走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点	
															昭島市	東京都
小学校	男子	1	448	116.6	21.2	8.8	10.3	25.9	25.0	-	13.8	11.7	111.1	7.3	27.9	29.1
		2	469	122.6	23.6	10.4	13.5	28.4	28.2	-	24.2	10.6	119.1	10.4	35.4	36.4
		3	452	128.3	26.8	12.3	16.6	30.1	31.9	-	32.7	10.1	129.7	13.8	41.9	42.4
		4	487	133.8	30.0	14.1	17.9	33.0	35.2	-	39.1	9.6	139.9	17.2	47.7	47.8
		5	477	139.5	34.1	16.3	19.2	35.7	39.8	-	44.5	9.3	147.2	19.7	52.9	53.1
		6	443	146.3	37.9	19.1	21.4	37.6	42.5	-	49.5	8.9	160.6	22.7	58.3	58.9
	女子	1	471	115.8	20.8	8.3	10.1	29.3	24.3	-	12.5	12.0	103.4	5.2	28.1	28.7
		2	470	122.1	23.4	10.1	12.2	32.3	26.7	-	17.8	11.0	111.3	6.8	35.4	36.2
		3	483	127.7	26.1	11.7	15.4	34.0	29.7	-	23.2	10.4	123.4	8.8	42.2	42.5
		4	440	134.2	30.0	13.7	17.5	37.0	33.6	-	29.4	10.0	131.9	10.4	48.5	48.6
		5	482	141.3	34.5	16.3	19.1	41.1	37.7	-	34.3	9.5	142.7	13.1	55.1	54.5
		6	468	148.0	40.1	19.3	20.2	42.8	40.4	-	38.1	9.2	151.3	13.9	59.6	59.6
中学校	男子	1	418	154.1	43.9	23.5	23.0	41.6	48.6	435.0	63.7	8.5	182.0	17.0	32.7	32.7
		2	426	161.3	49.4	28.6	25.7	43.7	51.4	397.8	75.4	7.8	191.8	19.1	39.4	40.9
		3	384	166.9	53.2	33.7	27.5	48.4	53.6	383.0	84.7	7.4	212.5	23.0	47.8	47.4
	女子	1	407	152.7	43.5	21.4	20.1	46.4	45.0	320.2	39.0	9.1	160.3	11.3	42.4	41.9
		2	404	155.1	47.4	22.8	21.6	44.2	45.4	304.8	46.8	8.8	164.8	11.7	45.6	46.8
		3	398	156.4	48.2	23.6	22.1	47.6	45.8	305.7	50.1	8.7	167.8	13.2	48.4	49.2

※網掛けは東京都の平均を上回る数値。

「新体力テスト9種目の内容」と「体力合計点」について

種目	内容
握力(kg)	左右各2回ずつ握力計で計測する。
上体起こし(回)	30秒間の腹筋運動によって上半身を起こした数を計測する。
長座体前屈(cm)	壁面に背中をつけて長座の姿勢をとり、高さ24cmの計測物を両親指の腹で押し出し、計測物の移動距離を計測する。
反復横とび(回)	1m幅に引いた3本の線を20秒間でまたぎ越す回数を数える。
持久走(秒)	中学生が対象。20mシャトルランと選択できる。男子1500m、女子1000mで計測する。
シャトルラン(回)	20m幅に引いたラインを往復した回数を記録する。(中学生は持久走との選択ができる。)
50M走(秒)	50m直線セパレートコースを全力疾走する。
立ち幅とび(cm)	両足をそろえて前方に跳躍する。
ボール投げ(m)	2mの円内から前方30度の範囲内にソフトボール1号球(小学生)、ハンドボール2号(中学生)を投げる。
体力合計点	項目別得点表により、記録を採点し、合計したもの。

体力総合評価(段階別)の経年変化



※上記のグラフは、各種目の個人の記録に応じて1～10点で評価し、合計得点の総合評価を、年齢に応じた一定の得点で5段階に分類したA層(合計得点が高い)からE層(合計得点が高い)の人数の割合を比較したもの。

基本施策3-2	担当課	学校給食課、指導課
学校給食・食育の充実		

施策の方向性
子どもの健全な発育のため、地元農家の協力を得て、地場野菜を積極的に活用し、安全・安心な学校給食の提供を行います。 また、学校、家庭及び地域等と連携し、食育を推進します。そして、各学校では、「食に関する全体計画」に基づき、食育リーダーを中心とした指導体制を一層充実するとともに、望ましい食習慣など健康的な生活習慣の形成を促進します。

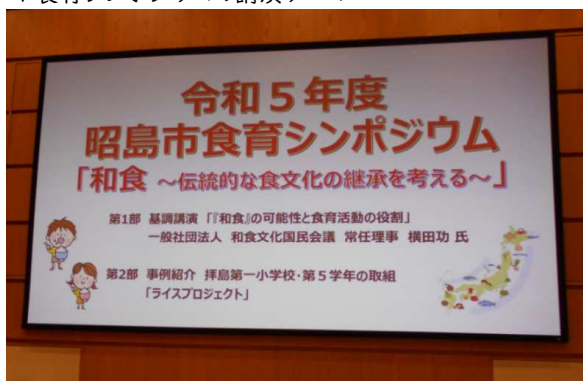
主な取組【担当課】		取組実績
1	学校給食運営基本計画に基づく学校給食の実施【学校給食課】	新たな調理場の整備について、新築工事が完了し、令和6年4月供用開始に向けた準備を行った。学校給食費を一般会計へ組み込み、学校給食費管理の透明性向上や、安定的な給食の提供に資するため、令和6年4月から学校給食費の公会計化へ向け、体制を整備した。
2	学校給食を通じた食育の推進【学校給食課、指導課】	献立表や給食だよりを通じて、旬の野菜や野菜摂取の重要性を伝えるとともに伝統的な食文化の継承のため、郷土料理や和食を積極的に取り入れた。地場産食材を給食で活用し、農家と連携した食に関する指導を実施した。食育リーダー会議の年2回の開催や教員との情報交換、学校との連携を図るため、センター校、親子調理方式の学校については、月に1回、食育推進会議（給食主任会）を開催した。 また、食育シンポジウム、食育のパネル展示、小学生を対象としたLet's食育クッキング教室を開催するとともに、昭島市公式インスタグラムを通じた情報発信により、食育の見える化を図った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	学校給食費の公会計化に向けた整備を実施した。 SNSを利用した情報発信及び学校との連携を図り、食育シンポジウムを開催するなど、食育の見える化を推進することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
(ア) 安全・安心な学校給食の提供について 納品業者、職員等と連携し引き続き、衛生管理体制の充実に努めるとともに、献立内容の充実に努める。また、令和6年4月からのアレルギー対応給食専用調理室からのアレルギー対応給食の安定的な提供に努める。 (イ) 食育推進のための連携について 学校給食を通じた食育を推進していく中で、家庭や地域と連携した取組について、更に検討を進める必要がある。また、食育については、家庭における関わりが重要であり、保護者や児童・生徒が食育を身近にとらえる機会や情報提供について更なる取組の充実が必要である。
今後の取組の方向性
(ア) 安全・安心な学校給食の提供について 衛生管理に対する意識向上を図り、異物混入や食中毒を防いでいく。食品の選定、納品に係る検収は、より細かく確認することにより、食中毒の防止や安全な食材の調達に努める。 アレルギー対応給食については、献立の工夫と共に、学校とも緊密な連携を図り、調理中、配膳等において万全な確認体制を構築する。 (イ) 食育推進のための連携について 学校給食を通じた食育を推進するため、家庭・学校・地域が一体となって取り組める体制を整える。また、家庭での食育を推進するため、Let's食育クッキング教室の開催やお弁当の日の取組を家庭に周知し、理解を深めていくとともに、児童・生徒がお弁当づくりを通して、食への関心や食事の大切さなどについて、家庭で考えるきっかけを創出する。 また、令和6年4月に開設した新調理場に整備した「Let's食育研修室」を活用して、様々な取組を企画し、市民に向けた食育の情報発信の拠点とする。

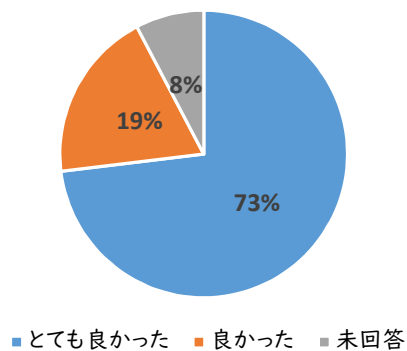
(参考資料)

▼食育シンポジウムの講演テーマ



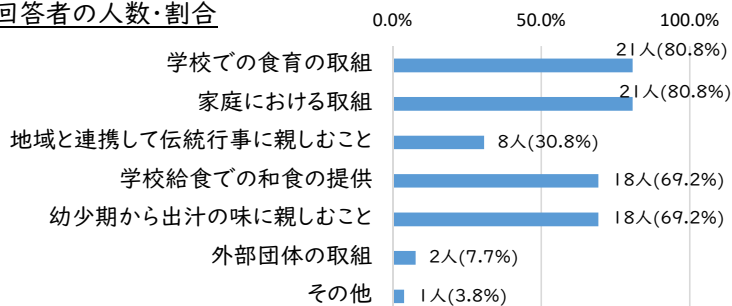
▼食育シンポジウムについてのアンケート

▼食育シンポジウムはいかがでしたか？



▼和食文化の継承を進めていく上でどのようなことが大切だと思いましたか？(複数回答可能)

回答者の人数・割合



※その他の意見・・・生産者との直接交流を交えた学びの機会

▼食育シンポジウムに対する意見

- ・ 学校の子どもたちの事例紹介を行い、子どもたちが食育への関心を広げる機会としていることはとてもいい取組みだと思いました。講師の先生の講評も大変わかりやすく温かく、子どもたちの励みになるものと思います。
- ・ 身体にも、環境にも良い「和食」の大切さ、すばらしさを再認識しました。しっかり継承していきたいと思いました。

▼食育展示の様子



基本施策3-3	担当課	指導課、学務担当
学校保健安全の推進		

施策の方向性
子どもたちの安全・安心の確保や心と身体の健康管理のため、アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた対応や、各種健康診断を実施します。 また、子どもたちが自分で自分の身を守るようにするため、各学校の安全教育全体計画に基づき、家庭や地域と連携して、生活安全、災害安全及び交通安全の3領域について計画的な指導を行います。 また、新型コロナウイルス感染症への対応を教訓として、感染症に対する正しい理解と予防対策を身に付け、感染症のまん延防止に努めます。

主な取組【担当課】	取組実績
1 アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた対応の充実【学校給食課、指導課、学務担当】	給食調理場の建替えに伴う、アレルギー給食の提供方法の変更を踏まえ、また、学校現場において、実際に即した取組内容となるよう、平成26年度に作成したアレルギー疾患対応マニュアルの内容を改訂し、小・中学校全校の教職員に研修を行った。
2 薬物乱用防止教室の実施【指導課】	小・中学校全校で、学校薬剤師等を活用した薬物乱用防止教室を実施した。薬物乱用の危害に対する正しい知識の普及・啓発を推進し、薬物の正しい活用の仕方について指導した。
3 がん教育の取組の推進【指導課】	中学校全校で、外部講師を活用したがん教育を実施した。昭和中と多摩辺中では、外部講師を招聘して実施し、残りの4校については、外部講師の講義ビデオを活用して実施した。
4 セーフティ教室の実施【指導課】	小・中学校全校でセーフティ教室を実施し、各学年の児童・生徒の実態に応じて、交通安全、不審者対応、SNSの安全な使い方などについて、外部講師と連携した取組を実施した。
5 感染症対策の推進【学務担当、指導課】	小・中学校全校における感染防止対策用の手指消毒液や手洗い石鹸、換気対策用物品の整備を行った。また、各学校における各種感染症による出席停止者の出現状況を把握するためのシステムを導入し、感染症の感染者数が増加した際の迅速な対応を可能とする環境を整備した。

自己評価	評価理由
B A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	児童・生徒の実態に応じ、各学校で関係機関と連携した取組を推進することができたため。
主な課題 外部講師を招いて活動を行うなどの工夫が図られているが、児童・生徒が課題解決のために主体的に考えたり話し合ったりする時間の設定について、更に工夫していく必要がある。	
今後の取組の方向性 外部講師との打ち合わせ等を密に行い、学習活動の充実を図り、学習内容について適切な知識を身に付けることができるようにする。	

(参考資料)



▲昭島警察署協力のもと交通安全教室(光華小)



▲スクエアドストレート方式の交通安全教室(拝島中)

基本施策3 健やかな体の育成

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ				自己評価	該当頁	
1 体力向上の推進				B	32,33	
2 学校給食・食育の充実				A	34,35	
3 学校保健安全の推進				B	36	
政策指標						
運動やスポーツをすることが好きであると回答した 児童・生徒の割合 (東京都児童・生徒体力・運動能力、 生活・運動習慣調査)			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 目標値
		小学校	90.5%	91.0%	91.2%	92.0%
		中学校	81.8%	83.0%	74.6%	83.0%

外部評価員による評価と意見		外部評価員	花田 茂
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指して、体力の向上、食育の推進、安全に関する指導をバランスよく施策として展開し、児童・生徒が生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう工夫している。 しかし一方で、コロナ禍を経て「体力・運動能力調査」の結果から児童・生徒の体力低下が懸念されていることも事実である。中学生では「運動が好きか」ということに関して、意識の低下が見られている。 そのため教育課程外の活動ではあるが、中学校における運動系部活動参加の推進は、その後のキャリア形成の意識に影響を及ぼし、社会的資質・能力の向上にも繋がっていくことを踏まえて、地域連携・地域移行の問題と併せて検討いただきたい。 また、学校給食、食育に関しては、新しい学校給食共同調理場の開設に伴い、食の見える化施策、地場産食材の活用など新たな取り組みへの挑戦は食育の推進に結びついている。今後、Let's食育研修室の活用を具現化し、計画的に進めていただきたい。			

基本施策4 輝く未来に向かって

基本施策4-1	担当課	指導課
幼・保・小・中が連携した教育の充実		

施策の方向性
幼児教育と小学校教育との円滑な接続を行うために、各学校では「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」に基づく取組を実施します。幼保小連携推進協議会では、幼稚園、保育所等や小学校の教職員が集まり、相互に連携し、子どもたちが円滑な小学校生活をスタートできるよう情報共有を行います。 また、義務教育9年間を通して、子どもたちに系統的、継続的な指導を行うため、中学校の学区ごとに小中連携教育を推進します。各中学校区では、年3回小・中連携の日を設定し、生活指導の各学校の状況について情報共有を行った、児童会と生徒会が交流を行ったりすることで、取組内容の統一化を図っていきます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」に基づく取組の実施【指導課】	各小学校でスタートカリキュラムを作成することで、第1学年の入学当初に児童が円滑にスタートできる学習を計画的に実施することができた。
2	幼保小連携推進協議会の開催【指導課】	年3回の幼保小連携推進協議会において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校で相互の施設見学等の交流及び市内全体で情報共有をする「情報交換会」を、教育委員会と子ども子育て支援課で連携して実施した。
3	小中連携教育の推進【指導課】	6つの中学校区に分かれて、年3回以上小中連携日を設定し、教員同士や児童・生徒同士の交流を行い、小学校と中学校の連携を推進した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校でスタートカリキュラムによる計画的な指導が実施できた。また、幼保小の施設を実際に見学することなどで、指導内容を具体的に交流し連携も進んだため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
令和2年度から令和4年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設見学ができなかったが、令和5年5月に5類へ移行後は可能となった。5月以降の調整となったため、施設への直接見学時期が7～12月の設定となった。小学校の見学は年度の早い時期に、幼保の見学は年度引継ぎ前に近い時期で行いたい。
今後の取組の方向性
小学校では、引き続きスタートカリキュラムを基にした計画的な指導を行う。また、適切な時期に相互の施設見学を行う。及び、幼稚園・保育所等の幼児と、小学校の児童で交流できる機会を設ける。小中連携教育の推進では、中学校区の特徴を生かした授業体験、部活動体験などを充実させ、小学校と中学校の連携を更に推進していく。

(参考資料)

▼昭島市スタートカリキュラムスタートブック

スタートカリキュラム

小学校へ入学した子どもが、幼稚園や保育園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくための教育課程。



昭島市スタートカリキュラム スタートブック

～昭島っ子の「学びの芽生え」から「自覚的な学び」をつなぐ～

昭島市教育委員会では、「第2次昭島市教育振興基本計画」に基づき、一人一人の発達や学びを切れ目のないようにつなぎ、学びの成果を受け止め、次の段階で一層発展できるように、「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」を発行し、小学校段階において円滑にスタートできることを目指した教育を進めています。



【幼保小連携推進協議会について】

○参加者		
担当幼稚園長	昭島台幼稚園 理事長	常木 浩史
担当保育園長	昭和保育園 園長	松野 紀代美
担当校長	東小学校長	鈴木 正樹
(事務局)		
子ども子育て支援課長、子ども子育て支援係長		
統括指導主事、指導主事		
○議題		
第1回 幼保小の見学について		
第2回 幼保小情報交換会の開催について		
第3回 今年度のまとめ及び次年度の取組について		

基本施策4-2	担当課	指導課
日本の伝統・文化に関する教育の充実		

施策の方向性 国際社会で活躍する日本人の育成を図るため、子どもたちの発達段階を踏まえ、各教科等を通じて、日本の伝統・文化、東京都や昭島市の歴史と風土について学ぶ機会の充実を図り、我が国や郷土を愛し、伝統や文化を継承、発展させようとするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育む教育を推進します。 小学校においては、連合音楽会や連合展覧会を開催し、中学校においては、合唱コンクールを開催し、子どもの豊かな情操を育成します。
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	体験活動を通じた伝統・文化に関する教育の推進【指導課】	各教科等で日本の伝統・文化、東京都や昭島市の歴史と風土について取り上げた。また、オリパラレガシーとして国際感覚の育成に向けて、伝統・文化教育を全校で実施した。
2	小学校連合音楽会の開催【指導課】	13校の小学校第6学年を7校と6校に分け、午前・午後に分けてFOSTERホールで開催した。児童881名が学年合唱・合奏発表を行った。児童保護者、地域など、991名が来場した。
3	小学校展覧会の開催【指導課】	令和5年度は、昭島市民公民館小ホールにて、各小学校の平面作品、立体作品を展示した。保護者、地域の方等2545人が来場した。
4	中学校合唱コンクールの実施【指導課】	中学校全校がFOSTERホールで実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	伝統・文化に関する教育や、市主催の各種行事により、児童・生徒の豊かな情操を育むことができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
日本の伝統・文化を大切にしていこうとする態度を育むために、地域人材の活用や体験活動の機会を増やし、充実した活動を実施していく必要がある。		
今後の取組の方向性		
小学校音楽会・展覧会においては、芸術を通して地域に広く周知できる機会を継続して設けていく。日本の伝統・文化に関わる体験活動においては、東京都や昭島市などの地域の歴史と文化について学ぶ機会を確保できるよう、各学校が小学校6年間、または中学校3年間を見通して、系統的な指導計画を作成するよう指導・助言する。また、地域と連携した取組を継続して実施する。		

(参考資料)



▲車人形の体験授業(つつじが丘小)



▲小学校連合音楽会(武蔵野小)



▲合唱コンクール(福島中)

基本施策4-3	担当課	指導課
学校・家庭・地域・社会との連携・協働		

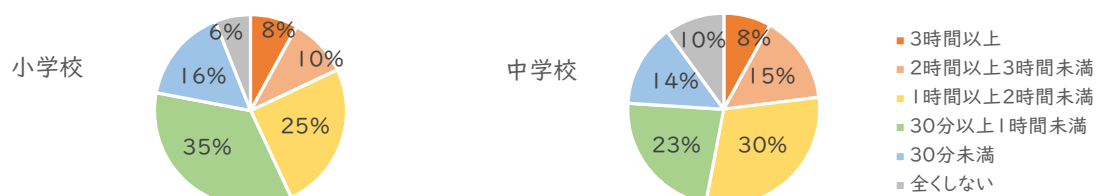
施策の方向性
社会がますます複雑化、多様化し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化する中、これからの教育は、これまで以上に家庭・地域・社会と学校との連携・協力の下で進めていくことが不可欠です。 学力の向上には、学校での学習指導とともに、家庭においても基本的な学習習慣、生活習慣を身に付けさせることが重要です。 そのために、学習ドリルや家庭学習のしおりを活用して、家庭での学習習慣の定着を図るとともに、起床から登校までの時間を60分間確保することにより、1日の生活リズムを整える取組を各学校で行い、生活習慣の改善を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	家庭学習の定着【指導課】	児童・生徒の個に応じた家庭での学習習慣の定着を図るよう、1人一台タブレット端末を活用した取組を行った。
2	グッドモーニング60分の取組【指導課】	各学校で、長期休業日明けにグッドモーニング60分の内容を踏まえた指導を行い、生活リズムを整える指導を行った。また、小学校教育研究会保健部会では、グッドモーニング60分の取組に係る研究を行い、2月の総会にて取組の発表を行った。
3	地域の教育力の活用【指導課】	市民図書館や地域の企業を活用するなど、地域の人的・物的資源を活用した教育活動を実践した。

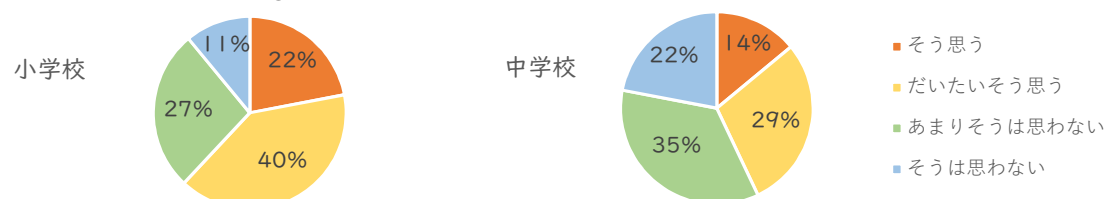
自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	家庭と連携した取組や、地域資源を活用した教育活動により、児童・生徒の資質・能力の向上を図ることができたため。また、長期休業日前の保護者会において、学校での学習の振り返りと、家庭での学習のポイントを伝え、次の学期に生かすことができていたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
家庭学習の定着を促進させるため、児童・生徒個々に応じた家庭学習の定着の方策について検討する必要がある。		
今後の取組の方向性		
家庭学習に意欲的に取り組むことができるよう、1人一台タブレット端末を有効活用した取組や、学習形態の工夫により、より良い学習習慣を身に付けることができるようにする。		

(参考資料)

児童・生徒アンケートの結果 ⑥1日平均何時間勉強していますか。(授業時間はのぞく)



保護者アンケートの結果 ⑤お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。



基本施策4-4	担当課	指導課
学校の教育力の向上		

施策の方向性
よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会で共有し、子どもたちが、社会や世界と関わり合い、たくましく人生を切り拓いていくための資質・能力を育むため、保護者や地域の方々の学校参画を促し、社会に開かれた教育課程を通して学校の教育力の向上を図ります。 教育課程の実施に当たっては、地域資源の活用や社会教育との連携を図り、学校教育その他の学校運営の状況について、自己評価、学校関係者評価を行い、その結果を学校の教育力の向上に生かします。

主な取組【担当課】		取組実績
1	教育推進計画(HDSプラン)の着実な実施【指導課】	学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】を作成し、学校経営の計画⇒実行⇒評価⇒改善に生かしている。2月の教育課程届出相談時において成果と課題を確認し、その内容を踏まえた次年度の教育課程を作成した。
2	職層に応じた研修や校内研修の実施【指導課】	職層に応じた研修(4月に新任主幹教諭、新任主任教諭、5月に新任副校長研修)を実施した。また、初任者から3年次教諭を対象に集合研修や授業観察訪問及び指導助言を実施し、授業力の向上等を図った。11年目を超えた教諭を対象に、中堅教諭等資質向上研修を実施し、服務や法規、生活指導など、ミドルリーダーとして必要な資質能力を育成した。
3	持続可能な学校運営の推進【指導課】	「学校の働き方改革実施プラン」に基づき、学校閉庁日(5日間)や定時退勤時刻の設定、夜間自動応答メッセージ(留守番電話)の活用など、ワーク・ライフ・バランスの実現に努めた。また、部活動指導員、部活動指導補助員、スクール・サポート・スタッフ等の配置により、教職員の負担軽減を図った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	学校経営重点計画で各校が設定した目標や方策が、成果となって現れていることを、学力調査の意識調査や児童・生徒、保護者アンケートにより確認することができたため。これは、学校が講じた手立てが児童・生徒の育成に効果として現れ、教員の指導力が向上したためである。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
教育課程の実施に当たっては、地域資源の活用や社会教育との連携を強化し、学校の教育力を向上していく必要がある。 働き方改革については、外部人材の活用をはじめ、教員の負担軽減を着実に図っていく必要がある。
今後の取組の方向性
令和5年度の小学校2校、中学校1校に加え、令和6年度からは小学校6校と中学校2校によるコミュニティ・スクールを実施する。その成果と課題を踏まえ、令和7年度からのコミュニティ・スクール全校実施を目指していく。 中学校部活動についても、令和5年度に開催した「部活動地域移行検討委員会」を令和6年度も継続して開催し、意識調査等を行うなど、本市にとって望ましい形を検討していく。

(参考資料)

▼教育推進計画(HDSプラン)(例)

令和〇年度 昭島市立〇〇学校 学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】

学校教育目標		【目指す学校像】	【目指す児童・生徒像】	【目指す教師像】
◎よく考え、やりぬく子 ◎思いやりのある 心豊かな子 ◎進んで体をきたえ 健康な子		◎子供の可能性を引き出す	◎自ら考え、主体的に学ぶ	◎人権感覚を養った子供を大切に育てる教師 ◎常に向上心をもち指導力向上に努める教師 ◎公務員としての自覚をもち信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な学習内容の定着を図ると	授業改善推進プランに基づいた指導に重点を置き、家庭学習の定着を図る	①家庭学習の定着を図る	4 全学年 3 学年別	3	4 学力調査の平均 3 学力調査の 2 学力調査の 1 学力調査の 0 学力調査の	2			C	
取組指標は、経営目標及び具体的方策に基づき学校(教職員)が取り組むことについて記載。 指標は「2」を現状として4段階の数値による評価基準を3学期に設定する。				成果指標は、経営目標及び具体的方策によって期待される成果について記載。学力調査の結果や児童・生徒、保護者アンケートの結果等による指標で、具体的な数値目標。 指標は「2」を現状として4段階の数値による評価基準を3学期に設定する。							

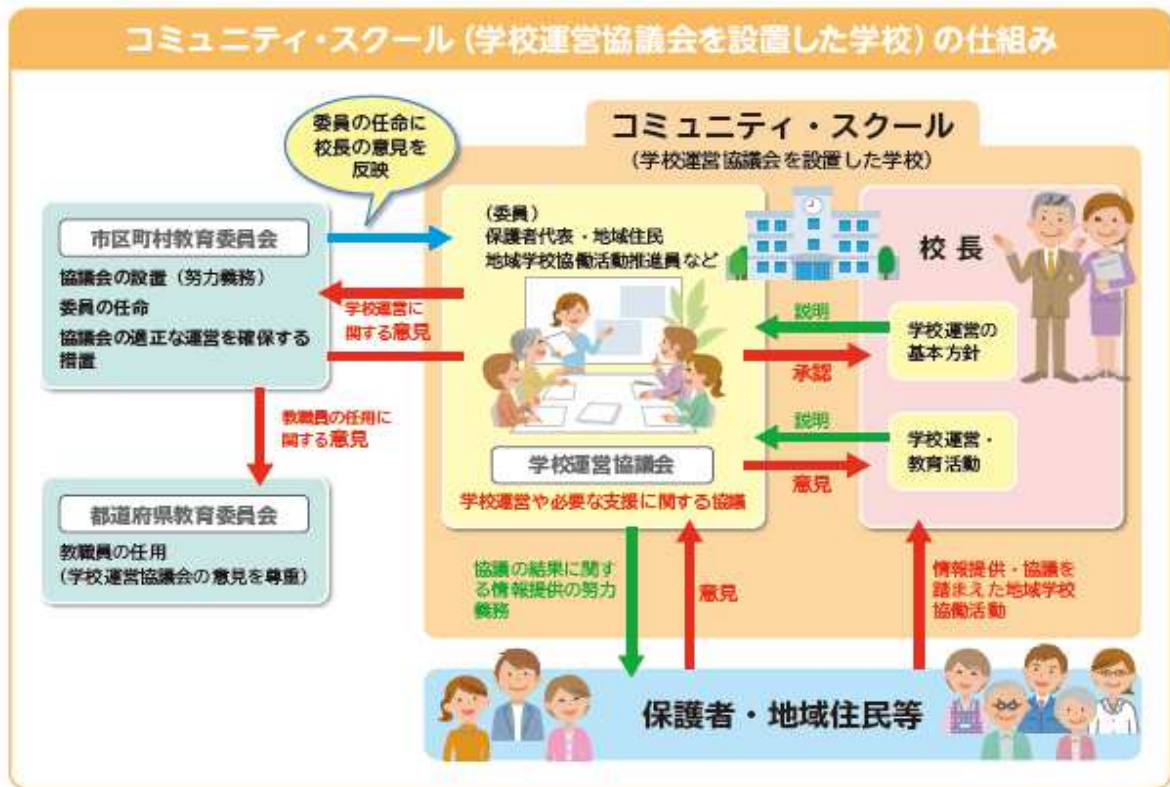
▼令和5年度「昭島市立学校教育推進計画」の数値目標及びそれぞれに対する実績について

(令和6年昭島市教育委員会第5回定例会 報告事項2)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/011/1500/5houkoku2.pdf>

▼コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、保護者や地域住民等が参画する学校運営協議会を設置し、地域と連携・協働しながら学校運営に取り組む学校です。学校運営協議会は、地域と学校が目標や課題を共有し、「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。



▼令和5年度にコミュニティ・スクールに指定した3校

武蔵野小学校	瑞雲中学校
つつじが丘小学校	

▼令和6年度に新たに指定する学校

共成小学校	清泉中学校
中神小学校	多摩辺中学校
光華小学校	
成隣小学校	
田中小学校	
拝島第三小学校	

基本施策4-5	担当課	指導課、教育総務課
教育環境の整備		

施策の方向性
子どもたちが安全で快適に学校生活を送り、効果的な学習活動ができるように施設や設備、教材の維持・整備を計画的に行います。 また、国のGIGAスクール構想の実現のため、学校におけるICT機器の整備や情報通信ネットワーク環境のさらなる充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校施設の大規模改修工事の計画的実施【教育総務課】	福島中での外壁改修及び太陽光発電設備設置、清泉中での便所改修、田中小での情緒固定学級整備などの工事を実施した。
2	学校施設・設備の維持及び整備【教育総務課】	冷暖房機、プール浄化装置、消防用設備などの保守点検や、快適な学習環境の確立に向けた修繕を実施した。
3	学校ICTの整備【教育総務課】	ディスプレイが設置されておらず、タブレット画面の提示やデジタル教科書の活用ができない教室について、50インチの大型ディスプレイの設置を実施した。(44台設置)
4	水泳指導の民間企業の活用【指導課、教育総務課】	光華小、つつじが丘小の2校について、民間屋内プール施設及び施設所属の専門指導員を活用した水泳授業を試行実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	施設や設備の維持・整備、ICT機器の整備を計画的に行えたため。また、水泳指導の民間企業の活用について、滞りなく試行実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
(ア) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施 多くの学校施設が建築後60年を迎えることから、大規模改修工事にとどまらず校舎等の建て替えの具体的な計画策定が必要。 (イ) 学校ICTの整備 学校ICT機器の活用が促進されていることに伴い、安定したネットワーク環境を維持・向上するため、校内ネットワーク環境の更新・増強が必要となる。また、大型ディスプレイについては、特別教室など未設置の教室へ配備していく必要があるほか、42インチのディスプレイが設置されている教室における、画面の見やすさの改善を図る必要がある。 (ウ) 水泳指導の民間企業の活用 学校における水泳授業は、天候不順や熱中症予防などにより、計画的な実施が困難となっているため、光華小、つつじが丘小の2校で実施した本事業の試行実施の評価・検証の結果から、今後のさらなる展開を検討していく。
今後の取組の方向性
(ア) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施 令和5・6年度で実施する建物耐力度調査の結果を踏まえ、校舎等の更新時期の順番等、具体的な計画を策定する。 (イ) 学校ICTの整備 安定したネットワーク環境を更に向上するため、校内ネットワークの更新を行う。また、学校ICTの更なる拡大のため、特別教室などへの大型ディスプレイの増設を行うとともに、42インチのディスプレイが設置されている教室については、50インチのディスプレイへの更新を行う。 (ウ) 水泳指導の民間企業の活用 今年度実施の2校に加え、令和6年度は武蔵野小、拝島第三小でも本事業を実施し、評価・検証をしていく。

(参考資料)

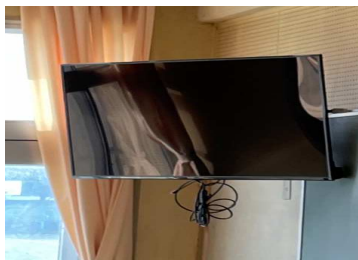
▼福島中外壁改修工事



▼田中小での情緒固定学級整備



▼50インチの大型ディスプレイの設置



▼水泳指導の民間企業の活用(教育・青少年だより「エール」7号より)

水泳指導民間活用事業による授業が始まりました



学校における水泳授業は、天候不順や猛暑による熱中症予防などにより、近年、計画的な実施が困難な状況となっています。こうしたことから、安全・安心な環境の中で、年間を通じて安定的に水泳授業を実施していくこと及びその検証を目的に、民間屋内プール施設を活用した水泳指導の試行を始めました。水泳授業は、施設所属の専門指導員が指導にあたり、教員等は、指導の補助や評価を行い、子どもたちが安全・安心に泳力を身に付けられるよう実施します。

5月・6月は、光華小の子どもたちが民間屋内プールで水泳の授業を行いました。1・2年生は、水に慣れたり、潜ったり浮いたり、3・4年生は、け伸びやばた足で浮いたり泳いだりしました。5年生は、クロールや平泳ぎなどの泳ぎ方を練習しました。



民間屋内プールには、広さや深さの違う大・小2種類のプールがあり、泳力に応じた取組を3グループに分かれて行うことで、一人一人楽しく活動することができています。また、室内プールのため、雨の日でも天候の影響を受ける事なく水泳の授業を行うことができています。

7月～12月には、光華小の6年生とつつじが丘小の子どもたちも民間屋内プールで水泳の授業を行う予定です。

☆詳しくは、指導課へ

基本施策4-6	担当課	指導課、教育総務課
情報教育の推進		

施策の方向性 スマートフォンなどの情報通信技術の向上によるSNSの普及や、人工知能（AI）の急速な技術革新により、人々のライフスタイルや価値観の大きな変化に対応した教育や学習機会を提供することが必要です。 また、平成29（2017）年に告示された学習指導要領においては、初めて「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力として位置付け、教科等横断的にその育成を図り、必要なICT環境を整え、適切に活用した学習活動の充実を図ることが示されました。 これらを踏まえ、各学校では、GIGAスクール構想による一人1台のタブレット端末の活用により、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びの実現を目指します。 また、タブレット端末や図書館を利用した学習を通して、子どもたちの情報活用能力や情報モラルについての指導を推進します。

主な取組【担当課】		取組実績
1	タブレット端末の活用の推進【指導課】	ICT担当者連絡会にて、「タブレット端末活用事例集」を作成し、昭島市の児童・生徒に身に付けさせたいICT機器の知識・技能を整理した。また、市研究指定校として、玉川小がICT機器を活用した授業実践の発表を行った。
2	教員研修の充実【指導課】	ICT担当者連絡会にて、東京都教職員研修センターの指導主事を招聘し、タブレット端末の効果的な活用について学んだ。
3	ICT支援員の配置【教育総務課】	学校教育のICT化の推進やICT業務に係る教員の負担軽減のため、小・中学校全校にICT支援員を配置した。（各学校週1回程度勤務）
4	情報モラル教育の推進【指導課】	小・中学校全校で「GIGAワークブックとうきょう」を活用し、タブレット端末を活用して、オンラインの資料により情報モラル教育の指導を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	ICT担当者を中心に、小・中学校全校でタブレット端末の活用を推進したため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
授業におけるタブレット端末の活用について、苦手意識をもつ教員もいる。どの学校のどの授業でも、ICT機器を効果的に活用できるように、ICT担当教員を中心に、継続的に推進していくことが課題である。		
今後の取組の方向性		
タブレット端末を効果的に活用し、児童・生徒が主体的に考え、話し合い、実践につなげていけるよう指導の改善を図る。また、WEBQUなど、学習eポータルを活用した取組の推進を図る。		

* WEBQU [\(https://manabipocket.ed-cl.com/feature/webqu/\)](https://manabipocket.ed-cl.com/feature/webqu/)

教員が児童生徒の状態を多角的に知ることができるアンケートツールのこと。構成は、いじめ、不登校、やる気、ソーシャルスキル、部活動、アクティブラーニング、学習意欲の項目で、個人とクラスの状態をアクティブに可視化して表示される。アンケートはweb上で行われる。

(参考資料)

▼GIGAワークブックとうきょう(東京都教育委員会発行のデジタル教材)

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/snsnote.html>

▼「GIGAワークブックとうきょう」教材例



とうきょう

はじめに

ネットがせかい中に広がり、1990年代には、ケータイ等のモバイル端末を持つようになりました。現在、大人たちはこうさくこをくり返しながら新しい使い方を考え、しっばいもたくさんしています。みなさんが生きていくこれからの時代は、全く新しい時代です。

みなさんにも学習の道具として1人1台の端末が配属されています。端末を上手に活用するために、学校やあそびでよくそくやたのしみについて「GIGAワークブック」を通して学んでいきましょう。

また、長時間使用によるしんがりのため、けんこう上のかんたんから、たのしみを使用する前によくそくを決めて、はたらきからけんこうチェックをすることが大切です。

これからの社会でもみなさんが学んだことを上手に活用してください。

かききれ



スキルのポイント

友だちの写真をとるときは、勝手にとってよいのでしょうか？
たとえば、水着等のはだかに近い写真は、勝手にとってはけません。
また、友だちのことをこっそりとり、イヤがっているのにとってはけません。
友だちの写真をとるときは、相手にききかえをるようにしましょう。



▼学校でのタブレット端末活用の取組例の紹介(教育・青少年だより「エール」10号より)

GIGAスクール通信

学校でのタブレット端末を活用した取組をご紹介します
★玉川小学校タブレット端末活用の取組★

考えの共有



低学年から、自分と友達の考えをタブレット端末上で比べたり、分類したり、関連付けたりして、学んでいます。
教員も会議の時は常にタブレット端末を活用してより良い指導について意見を交換しています。

個別最適な学びを目指して、一人一台を活用するだけでなく、グループで一台を共有して使用する等工夫した活用を目指しています。また、授業だけでなく、委員会活動等で関わり合うツールとして積極的に活用しています。6年生の授業では発表の様子を動画で撮影し、その動画を共成小学校の児童と共有し意見や感想をもらいました。インターネットを活用した他校との関わり合いも進めています。

関わり合い



基本施策4-7	担当課	指導課、教育総務課
環境教育の推進		

施策の方向性
自然に親しみ、自然を大切にすることを育成するとともに、地球環境の保全について考え、行動できる教育を推進します。 また、学校・家庭・地域の連携・支援体制を確立し、環境教育のより一層の充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	持続可能な社会づくりに向けた教育の推進【指導課】	各教科や総合的な学習の時間など、教育活動全体を通してSDGsの視点を考慮した取組を実践した。
2	環境月間における環境教育の推進【指導課】	各教科や領域の学習に併せて、移動教室の事前・事後学習等とも関連付けながら、環境教育を推進した。特に、昭島市が水と緑が豊かな街であるという地元の財産も生かした授業を実践した。
3	太陽光発電設備の設置【教育総務課】	福島中学校校舎屋上に30kWの太陽光発電設備を設置した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	全ての教育活動において、昭島市の自然を生かした環境教育の実践を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
グローバルな視点にたった環境教育と、地元の自然環境を生かした自分自身が取り組むことができる内容を整理し、両面に関わる環境教育を実践する必要がある。		
今後の取組の方向性		
各教科や総合的な学習の時間等を活用し、自分自身が自らの問題として捉えることができるよう、学びを深める必要がある。また、脱炭素社会に向けて、地域で協力して実践できる取組を検討していく。		

(参考資料)

▼ナッジ理論を活用した省エネ教育プログラムを実施

<https://www.city.akishima.lg.jp/s068/020/010/010/040/320/20230825131916.html>

【授業風景】



▲児童が作成した新聞

▼福島中学校校舎屋上に設置した太陽光発電設備



▼福島中学校の発電量の揭示



基本施策4-8	担当課	指導課、教育総務課
国際理解教育の推進		

施策の方向性
グローバル化が進展する中で、子どもたちが広い視野をもち、外国の言語や文化について理解を深め、世界の人々と協調しながら生きていく態度を身に付けることを目指し、国際理解教育を推進します。 また、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる基礎的な力を育てるために、小・中学校において外国語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	実用英語技能検定の受験機会の確保【指導課】	中学校第3学年を対象として、各中学校で実用英語技能検定を実施した。事後に生徒を対象としたアンケートを行い、課題や今後の方向性を明確にした。
2	英語村を活用した実践的活動の充実【指導課】	小学校第6学年及び中学校第2学年を対象として、英語村(TGG)の施設を活用した体験活動を実施した。また、実施後、児童・生徒対象のアンケートを行い、成果と課題を分析した。
3	中学生海外交流事業の実施【教育総務課、指導課】	福島中の生徒が、英語の授業において、貸与しているタブレット端末を活用し、オーストラリアのパース・モダン・スクールの日本語を勉強している生徒とオンライン交流を実施した。
4	平和教育の充実【指導課】	社会科において、社会の平和の在り方を考えたり、世界各国を知る機会を設けた。2学期に「原爆と人間展」を市内中学校に巡回し、生徒が閲覧できるようにパネルを展示した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	英語村の活用により、英語によるコミュニケーションへの意欲の向上を図ることができた。また、実用英語技能検定を通して、英語学習に対する意欲を高めることができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
英語村、実用英語技能検定や体験活動等実施後の児童・生徒の学習意欲を、持続させ学習に結び付けるために、各学校が授業改善等により工夫した取組を行う必要がある。		
今後の取組の方向性		
英語村での体験活動や実用英語技能検定を、継続して実施する。中学生海外交流事業は、令和6年度は受入及びオンライン交流のみを実施し、令和7年度以降の事業の在り方について検討する。 また、平和教育については、教科等の学習を中心に、「原爆と人間」展の実施や外部講師を招いた講演等を活用して推進する。		

(参考資料)

▼公費負担により実用英語技能検定を受験した人数

級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	合計
令和5年度	4	33	134	432	140	92	835
令和4年度	3	37	120	364	142	107	773

Let's
English!!

「立川英語村」で体験学習を実施



昨年に引き続き、体験型英語学習施設「立川英語村(TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS)」において、市内の小学校6年生全児童と中学校2年生全生徒が、外国とほぼ同様の環境で英語学習を行いました。立川英語村には、英語レベルに応じた様々なプログラムがあり、子どもたちは授業で習得した英語力を実際の場面で使い、海外生活を疑似体験して楽しみながら英語を学びました。



▲小学校児童の体験の様子

子どもたちや教員からは、「普段の授業で勉強したことが活かせて、英語が通じた時はとても嬉しかった」「教室では体験できない学習をすることができ、子どもたちの主体的な姿をみることができた」などの感想がありました。

今後も、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できるよう、小・中学校において外国語によるコミュニケーション能力の育成を図っていきます。



▼中学校生徒の体験の様子

▼中学生海外交流事業オンライン交流の様子



▼中学生海外交流事業オンライン交流を実施した感想

○僕は、とてもが付くくらい英語が苦手で、初めてな人などに話すのも苦手です。初めは伝わらなかったら、どのような不安がありました。だけどいざ、交流をしてみると不安を忘れるくらいとても楽しくできました。英語がこんなに楽しいと思ったのは、初めてです。とてもいい経験だったので、もっと英語を好きになるくらいまで頑張りたいです。

○パースの方たちと交流する前、すごい楽しみだけど少し緊張もしていて、いざ始まると緊張も消えて楽しめました。パースの方たちは私たちが少し変な英文になっちゃった時、みんなで優しく笑ってくれました。初めて海外の方と話をしてみても、最初は不安だったけど全然平気でした。一言でまとめるのとめちゃくちゃ楽しかったです。また海外交流をしたいと思いました。

基本施策4-9	担当課	指導課、各課
キャリア教育の推進		

施策の方向性
社会環境がめまぐるしく変化する中で、子どもたちが希望をもって自立的に自分の未来を切り拓いていくためには、社会の変化に対応していく力や態度、望ましい勤労観・職業観を育てていくことが重要です。 各学校では、「キャリア教育 全体計画」に基づき、計画的にキャリア教育を推進し、子どもたちが将来への夢をもてるようにするとともに、望ましい勤労観・職業観を育成します。 中学校では職場体験を引き続き実施し、子どもに働くことの意義について理解を深めさせます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	職場体験受入事業所の確保・拡大 【指導課、各課】	中学校全校が多様な事業所を確保し、3日間の職場体験を実施した。
2	キャリア・パスポートの活用 【指導課】	各小・中学校において、学年初めや学期末、学校行事後に、学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返ることで、新たな学習や生活への意欲につなげるために、キャリア・パスポートを活用した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	職場体験の中学校全校実施により、勤労観・職業観を育成することができた。また、キャリア・パスポートの校種間の連続した活用により、学習や生活への意欲を持続させることができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
職場体験の受入事業所については、全ての生徒が希望する事業所で体験できるよう、更に確保・拡大を行っていく必要がある。		
今後の取組の方向性		
地元の企業や市役所の各課に働きかけることで、事業所の確保・拡大を行う。また、進路指導主任会等で情報交換を行い、各学校からの情報を元に事業所の拡大を行う。		

(参考資料)



▲職場体験の様子(瑞雲中)

18学年 学年始め		▼▼キャリア・パスポート	
今の自分		名前	
☆今の自分を書いてみよう!			
将来の夢	☆こんな6年生になりたい!		
自分の長所	こんな自分になりたい	そのためにやること	
好きなこと	学習		
苦手なこと	生活		
	委員会、クラブ活動、係		
	習い事、地域の活動		

基本施策4 輝く未来に向かって

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 幼・保・小・中が連携した教育の充実		B	38,39
2 日本の伝統・文化に関する教育の充実		B	40
3 学校、家庭、地域・社会との連携・協働		B	41
4 学校の教育力の向上		B	42,43
5 教育環境の整備		B	44,45
6 情報教育の推進		B	46,47
7 環境教育の推進		B	48
8 国際理解教育の推進		A	49,50
9 キャリア教育の推進		A	51
政策指標			
自分には、よいところがあると思うと回答した 児童・生徒の割合（全国学力・学習状況調査）		令和3年度	令和4年度
		令和5年度	令和8年度 目標値
小学校		75.3%	80.3%
中学校		79.2%	80.3%

外部評価員による評価と意見		外部評価員	花田 茂
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
社会の予測困難な変化や急速に進行する多様化に対応していくために、様々な教育活動を通して、児童・生徒が主体的に課題に挑戦し、多様な他者と協働してその解決を図ることが求められている。そのため学校教育が直面している問題を焦点化し、多角的な視点からそれぞれの課題を施策に落とし込み、取り組んでいる。 各校の教育推進計画に基づく学校運営、円滑な学校間の接続、昭島市の歴史と風土を生かした教育活動、GIGAスクール構想を踏まえたICT活用の推進、SDGsの視点を生かした取り組みなど、一定の成果が表れている。 一方、教育の質の向上に向けて、教員の働き方改革は重要な要素である。教員の意識は少しずつ変化しているが、教育行政の立場から更なる評価・検証を進める必要がある。例えば、水泳指導の民間企業の活用による教員の負担軽減と合わせた学校プールの在り方の検討、中学校における部活動の地域連携・地域移行など、具体的に進展するようにお願いする。 また、教育環境の整備に際しては、長期的な展望と莫大な予算を必要とする事業であることに鑑み、慎重な計画の策定が必要である。例えば、学校施設については耐力度調査を実施して、更新時期の計画策定に際しては、教育人口推計を勘案すること、構造物の建て替えの際には、生涯学習との連携を視野に入れるなど、児童・生徒の「輝く未来に向かって」という施策の理念を踏まえていただきたい。			

生涯学習の推進

基本施策Ⅰ 文化芸術活動の促進

施策の方向性

文化芸術は、人々に感動や喜び、精神的安らぎをもたらし、創造性を育むとともに、心豊かな潤いのある生活や、豊かで個性ある地域社会の形成に寄与するものです。それゆえ文化芸術に対する市民の関心と理解を深める必要があります。そこで、誰もが芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図り、文化芸術に係る市民の自主的な活動への支援を行うとともに、文化活動の成果を発表する機会の提供に努めます。

また、昭島市文化芸術推進基本計画に基づき、観光、まちづくり、国際交流、教育、産業、福祉など幅広い分野との連携を図りながら、文化芸術を通して多様な交流を推進します。

基本施策ⅠーⅠ

担当課

市民会館・公民館

文化芸術活動への支援

主な取組【担当課】		取組実績
Ⅰ	市民文化祭の実施 【市民会館・公民館】	10月7日から11月3日にかけて演奏、演芸、展示など27部門に分かれ実施した。延べ来場者数：10,695人。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	来場者、参加団体とも前年度より増加している。また茶会や将棋、囲碁等、コロナ禍の影響を受けた部門も復活し、文化祭を盛り上げた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

(ア) 来場者について
コロナ禍以前に比べると来場者は減少しているが、コロナ禍が第5類に移行し、徐々に回復してきている。文化芸術に関心と理解を深めるためにも、来場者を更に増やすための取組が必要である。

(イ) 参加団体数について
参加団体のメンバーが高齢化し出展・出場者がコロナ禍以前の水準まで達していない。今までの参加団体が引き続き継続して参加できるための配慮を含め、新たな参加団体をどのように取り込んでいくか検討する必要がある。

今後の取組の方向性

(ア) 来場者について
広報あきしま、公民館だより、X(旧ツイッター)、ホームページ等によりPRをしているが、チラシの全戸配布を行い、来場者の更なる増加を図る。

(イ) 参加団体数について
公民館の他に市内の他施設で活動している団体にも積極的に参加を促すとともに、SNSなどを利用して参加団体の増加を図る。

(参考資料)



◀@akishima_komin

(昭島市市民会館・公民館公式Twitterアカウント)



▲昭島市民文化祭チラシ



▲昭島市民文化祭 (俳句展)



▲昭島市民文化祭 (盆栽展)



▲昭島市民文化祭 (邦楽のしらべ)



▲昭島市民文化祭 (茶会)



▲昭島市民文化祭 (華道展)



▲昭島市民文化祭 (合唱祭)

令和5年度 昭島市民文化祭 日程表

	10月											11月		
	7日(土)	8日(日)	9日(祝)	13日(金)	14日(土)	15日(日)	21日(土)	22日(日)	27日(金)	28日(土)	29日(日)	1日(水)	2日(木)	3日(祝)
FOSTER ホール	歌謡祭	音楽祭				芸能祭	民謡の つどい	合唱祭		邦楽の しらべ	フラフェス ティバル			ショー タイム
小ホール		囲碁大会	将棋大会		平和展		＜--- 華道展 ---＞			音楽祭	朗読の つどい			落語
展示室 会議室	＜--- 手工芸展 ---＞			＜----- 平和展 -----＞			＜--- 俳句展 ---＞		＜----- 写真展 -----＞			＜----- 美術展 -----＞		
		茶会					＜--- 陶芸展 ---＞			＜----- 短歌展 -----＞				人形劇 の集い
							＜--- 山野草展 ---＞			＜----- 科学展 -----＞				
							＜--- 盆栽展 ---＞			＜----- 書道展 -----＞				

基本施策1-2	担当課	市民会館・公民館
文化芸術に接する機会の充実		

主な取組【担当課】		取組実績
1	文化芸術に関する講座・講演会の実施 【市民会館・公民館】	市民が気軽に音楽に親しむ機会として、ふれあいコンサート実施した。 ①「ママとjazz」 参加者数:87人 ②「Praise ジャズコンサート」 参加者数:107人
2	市民会館自主文化事業の充実 【市民会館・公民館】	音楽や劇などの文化事業を通じ、地域文化の向上と市民の交流を図るため、大ホール事業7、小ホール事業1の計8事業を実施した。(延べ入場者数4,488人) ※下記参考資料参照

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	ふれあいコンサートは毎年2回実施し、事業として浸透している。 自主文化事業においては、事業数が前年度より減少したこともあり、延べ入場者数も減少となった。しかしながら子ども向けのイベントショーやクラシック、ミュージカル等幅広い分野で実施することができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
(ア)文化芸術に関する講座・講演会の実施について 参加者の年齢層が高く、若年層が少ないため、若年層が来館しやすい周知のPR方法等の工夫が必要である。 (イ)市民会館自主文化事業の充実について コロナ禍で減った入場者数を戻すため、限られた予算の中で市民のニーズにあった事業を計画・実施していくことが必要である。		
今後の取組の方向性		
(ア)文化芸術に関する講座・講演会の実施について ふれあいコンサートは、定員を80名から120名に増加したが、申込み初日で定員となったコンサートもあり、関心の高さがうかがえる。今後も気軽に音楽に触れ合う機会の提供を行う。 (イ)市民会館自主文化事業の充実について 令和6年度は昭島市市制施行70周年を迎え、記念コンサートやニューイヤーコンサートを計画しており、これらをきっかけに市民が文化芸術に触れる機会を更に増やしていけるよう周知を徹底していく。		

(参考資料)

▼市民会館自主文化事業(延べ入場者数4,488人)

No.	事業名	開催日時	入場者数	場所
1	TEAMパフォーマンスラボ ×ガチャピン・ムックのサーカスエコロジカル	6月17日	大人 168人 子ども 143人	大ホール
2	岩崎宏美&国府弘子 Piano Songs Live	6月24日	462人	大ホール
3	我ら演歌第7世代!スペシャルコンサート	8月26日	683人	大ホール
4	第17回昭和の森音楽祭	10月1日	1,300人	大ホール
5	川井郁子とN響の仲間たち	10月14日	216人	大ホール
6	劇団四季ファミリーミュージカル「エルコスの祈り」	12月23日	大人 698人 子ども 244人	大ホール
7	第73回昭島寄席 新春初笑い	1月21日	445人	大ホール
8	昭島夕涼み寄席	7月22日	129人	小ホール

基本施策1-3	担当課	企画政策課、社会教育課、アキシマエシス管理課、市民会館・公民館
多様な主体と連携した文化芸術活動の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	文化芸術を通じた多様な交流の推進 【企画政策課、社会教育課、アキシマエシス管理課、市民会館・公民館、各課】	行政・企業・芸術家の協力により設置した「昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園」について、引き続き運営支援を行うことにより、文化芸術を中心とした地域の活性化に努めた。 市民文化の啓発や、芸術祭の開催などを実施している昭島市文化協会に対し、補助金を交付した。 地域で暮らす外国の方から自国の文化や料理を学び交流を図る事業として「おいしい!楽しい!な～るほど ワクワクどきどき異文化交流」を実施した。様々な国の文化を体験し料理を一緒に作り、交流を図った。
2	文化芸術活動団体への支援 【企画政策課、市民会館・公民館】	昭和の森芸術文化振興会との共催で、第16回あきしま市内芸術家公募展及び芸術家の卵展を開催した。(来場者数等は参考資料のとおり) 文化芸術活動を行っている公民館登録団体に対し、公民館使用料(会議室及び付属設備)を免除することによって団体がより積極的に活動できるよう支援した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	彫刻園や芸術家公募展・芸術家の卵展により、企業や芸術家等との連携した文化芸術活動の促進という成果を得ることができた。 文化芸術活動団体に対して会議室や付属設備を免除することによって、利用者からは一定の評価をいただいている。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
講座の運営に際し、外国の方も関わって実施したが、参加者としてはいなかったため、外国の方に向けて参加を促す周知の方法を検討する必要がある。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア) 多様な交流の推進について</u> 引き続き、彫刻園の運営支援や芸術家公募展・芸術家の卵展の共催を行い、より多くの人に芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図るとともに、多様な主体と連携した文化芸術活動の促進に努める。		
<u>(イ) 多文化交流講座について</u> 今後も、講座の企画から運営まで様々な市民の方にも加わっていただき、多様な国の文化や芸術に触れ、交流を深めることができる機会として継続する。また実施にあたっては外国の方が集まるサークルなどに伺って直接チラシを配るなどして周知を図る。		

(参考資料)

「昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園」
パンフレット ▶

令和5年度来場者数: 13,682人

<https://www.june9-showa-no-mori-akishima.jp/>



No.	事業名	開催日時	参加者数	場所
1	インドネシア料理(バクソ作り)と文化	2月10日	21	公民館実習室
2	ブラジル料理(パステウ作り)と文化	2月17日	28	公民館実習室
3	中国の食文化・習俗・水墨画体験・元宵の試食	2月24日	19	市立武蔵野会館
4	アメリカ、メキシコ各国の文化とギター演奏	3月2日	19	市立武蔵野会館

事業名	展示数	開催日時	来場者数	場所
芸術家公募展	36作品	2月26日～3月1日	1,159	市民ロビー
		3月2日～3月8日	5,223	モリタウン
芸術家の卵展	小学生84作品 中学生207作品	3月9日～3月15日	7,787	モリタウン

あきしましこうみんかんしゆさい
昭島市公民館主催

おいしい! 楽しい! なーるほど

ワクワク どきどき 異文化交流

1日目

 インドネシア料理と文化
インドネシア料理バウを学びます。

日時: 令和6年2月10日 (土)
午後6時~8時

会場: 昭城市公民館 第2会議室
参加費: 200円程度
講師: カルロス・チカ テグ
チカガリさん

2日目

 ブラジル料理と文化
ブラジル製造バスウを学びます。

日時: 令和6年2月17日 (土)
午後6時~8時

会場: 昭城市公民館 第2会議室
参加費: 200円程度
講師: 高木 カルベルト ジナドさん

3日目

 華国の真文化、語学、水産通
体験 虎骨 (中華お獅子の戯れ)
二島の演劇もあります。

日時: 令和6年2月24日 (土)
午後6時~8時

会場: 市立武蔵野会館
第2・第3集客室
参加費: 200円程度
講師: 孫様さん

4日目

 アメリカ、 メキシコ、 キューバ、 フィリピン

アメリカ、メキシコ、オーストラリアの習俗の文化、キターの演劇もあります。

日時: 令和6年3月2日 (土)
午後6時~8時

会場: 市立武蔵野会館
第2・第3集客室
参加費: 200円程度
講師: ウォルター・ルイスさん

対 象 : 市内在住、在勤、在学の方 (国籍は問いません!)

※講座は基本的に全員の参加となります。

定 員: 15人 (多数希望)

申込み: 令和6年1月5日 (金) 午前9時~1月25日 (木) までに公民館で受付

(☎042-544-1407/火曜日 休 館)

[illegible]

基本施策Ⅰ 文化芸術活動の促進

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 文化芸術活動への支援		B	53,54
2 文化芸術に接する機会の充実		C	55
3 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進		B	56,57
政策指標			
この1年間に、音楽・演劇・美術などを外出して鑑賞したことがある市民の割合（昭島市 市民意識調査）	令和元年度	令和4年度	令和5年度
	52.7%	—	41.9%
市民文化祭の参加者数	12,625人	9,566人	10,695人
			令和8年度 目標値 15,000人

外部評価員による評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
文化芸術に対する市民の関心と理解を深めるために、芸術作品を身近に鑑賞できる機会を充実すること、文化芸術に係る市民の自主的な活動への支援を行うこと、文化活動の成果を発表する機会を提供すること、幅広い分野との連携を図りながら文化芸術を通して多様な交流を推進することが、本施策の方向性として示されています。 基本施策1-1文化芸術活動への支援について、コロナ禍以前と同程度とは言えないものの、昨年度より多い来場者を得て市民文化祭を実施できたことは、市民の自主的な文化活動の成果の発表の機会提供という意味でも一定評価できます。一方で参加団体の高齢化や固定化、出場者の減少については近隣市でも同様に指摘されていることでもあり、一過性の問題ではなく今後継続的に検討・改善していくべき課題と認識する必要があります。 基本施策1-2文化芸術に接する機会の充実については、文化芸術に関する講座・講演会や市民会館自主文化事業が計画通り実施されているものの、参加者数がコロナ禍以前ほどは戻らず、また若年層の参加が伸びないことが課題です。政策指標の結果もはかばかしくありません。文化芸術に触れる機会を多様な世代に広げるために、市民のニーズや関心をとらえる魅力ある企画を期待します。			

基本施策2 文化財の保護・調査・活用

施策の方向性

地域の暮らしの中で守られ継承された文化財は、先人の知と技を伝え、個性あふれる地域文化を育み、昭島の歴史や文化の理解に必要不可欠なものです。また、「ふるさと昭島」づくりにとって重要な資産であるため、次世代に確実に継承していくことが求められます。

そこで、これらの文化遺産を後世に伝え、地域の文化遺産としての活用を図るため、その調査と研究に努め、関連する文化財の総合的な把握と長期的な視野に立った計画的な保護・保存と活用を図ります。

また、埋蔵文化財や古文書、民具等の収集を図り調査・整理・記録・保存に努め、適切な管理とデジタルアーカイブズ化を促進し、学校教育や社会教育などの場においても効果的な活用を図ります。

文化財ボランティアや郷土資料室での展示、デジタルアーカイブズ等を有効に活用し、地域の歴史や文化への理解を促進します。

基本施策2-1	担当課	アキシマエンス管理課
---------	-----	------------

文化財の保護・保存・調査・研究の推進

主な取組【担当課】		取組実績
1	郷土資料室・郷土資料展示室の展示 【アキシマエンス管理課】	市内で発掘された縄文土器の展示、民具と絵本のコラボレーション企画、化石の断面の展示など5つのテーマの企画展を実施した。また、昭島の歴史や文化の理解が深まるICTを活用したコンテンツを上映した。
2	埋蔵文化財の発掘調査 【アキシマエンス管理課】	埋蔵文化財の散逸を防ぐため、宅地開発等に伴う遺跡範囲の立会調査を12件実施した。

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	郷土資料室の入場者数に課題があるものの、郷土資料室企画展を継続して開催し、ICTを活用したコンテンツを体験することで、昭島の歴史や文化について知識を広げる場を提供できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
郷土資料室・郷土資料展示室で民具に触れる機会を提供する取組を行っているが、大量の民具の整理及び展示に向けた適切な管理及び民具の利活用方法の更なる検討が必要である。		
今後の取組の方向性		
貴重な文化遺産と地域に伝承されてきた歴史や郷土文化を正しく後世に伝えていくため、郷土資料室・郷土資料展示室において、分野ごとに特化した企画展示の実施や、埋蔵文化財の発掘調査等を通じて出土した遺物などの文化財を施設見学者に供し触れる展示を継続して行っていくことで有効活用を図り、市の郷土文化に対する市民の愛着や理解度を高めていく。		

(参考資料)

1 郷土資料室・郷土資料展示室の展示

▼郷土資料室・郷土資料展示室入場者数

年度	入場者数
令和2年度	47,028
令和3年度	37,619
令和4年度	39,675
令和5年度	40,103

▼郷土資料室企画展

事業名	展示期間	入場者数
東中神祭礼道具展	4月1日～5月6日	3,030
昭和のくらしを支えた道具たち	5月9日～7月23日	7,771
アキシマの縄文時代～和田哲氏寄贈資料展～	7月25日～10月29日	13,771
骨の断面から見えるモノ～化石薄片展～	10月31日～1月28日	7,591
昔話のモノ物語～絵本と昔の道具展～	1月30日～3月31日	6,090

▼郷土資料室の様子



▼昭和のくらしを支えた道具たち



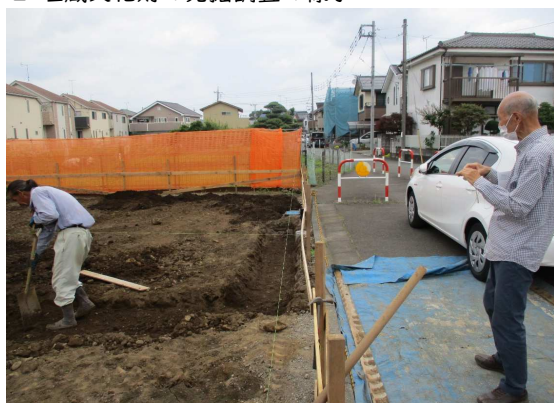
▼アキシマの縄文時代～和田哲氏寄贈資料展～



▼昔話のモノ物語～絵本と昔の道具展～



2 埋蔵文化財の発掘調査の様子



基本施策2-2	担当課	アキシマエシス管理課
文化財の活用と継承の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	市史・文化財資料図書の発刊・頒布 【アキシマエシス管理課】	昭島近代史調査報告書の11冊目、「身近な歴史の舞台50景」を刊行した。養蚕・製糸業の最前線、市境の様子や村境の坂道など、これまで取り上げていない身近な歴史の舞台を分かりやすく解説した。
2	デジタルアーカイブズの充実 【アキシマエシス管理課】	デジタルアーカイブズの新たなコンテンツとして、明治から令和まで時代とともに大きく移り変わった昭島の様子を見ることができる「写真でたどる あきしまメモリーズ」を作成し、公開した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	文化財保護の啓発のため様々な工夫を図り、活用場面を広げることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
昭島近代史調査報告書の発刊を継続するため、より市民が知りたい情報を提供していく必要がある。また、デジタルアーカイブズは昭島市の歴史・文化財・民俗文化等をインターネット上で容易に検索・閲覧できるという特性を活かし、更なる活用方法を模索していかなければならない。		
今後の取組の方向性		
文化財等を身近に親しむことのできるようにするため、昭島近代史調査報告書の刊行を継続する。また、地域の歴史や文化財への理解を促進し次世代に継承するため、文化財資料のデジタルアーカイブズ化も引き続き継続し、魅力あるコンテンツを提供していく。		

(参考資料)



◀ 1 市史・文化財資料図書の発刊・頒布

昭島市近代史調査報告書XI「身近な歴史の舞台50景」
 発刊数:500部
 頒布数:219部
 料金:600円



◀▲ 2 デジタルアーカイブズの充実 「写真でたどる あきしまメモリーズ」イメージ画像

基本施策2 文化財の保護・調査・活用

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ			自己評価	該当頁
1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進			C	59,60
2 文化財の活用と継承の支援			B	61
政策指標				
郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数	令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 目標値
	47,028人	39,675人	40,103人	50,000人

外部評価員による評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
地域の暮らしの中で守られ継承されてきた文化財の保護、調査、整理、保存、活用を総合的かつ効果的に行うことで、文化遺産を次世代に伝えとともに、地域の歴史や文化への理解を促すことが、本施策の方向性として示されています。 基本施策2-1文化財の保護・保存・調査・研究の推進では、郷土資料室・郷土資料展示室を核にいろいろなテーマの企画展を開催したり、ICTを活用したコンテンツを上映したりするなど昭島の歴史や文化への興味や関心を引き出し理解を促進する取り組みが充実しています。ただ残念ながら郷土資料室・郷土資料展示室への入場者数が昨年度、一昨年度よりは増加しているものの、開館した令和2年よりも減少しており、目標値の年間50,000人に届かない状況です。引き続き充実した企画展等の実施に加え、広く市民に周知する方策についても検討してください。			

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

施策の方向性

スポーツやレクリエーションに親しむことは、体力の向上や精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進につながります。生活が便利になり体を動かす機会が減少した現代社会においては、極めて大きな意義があります。特に高齢者においては、外出機会が増えるとともに、仲間づくりなどの一助にもなっています。昨今では、健康志向の高まりにより、生涯にわたりスポーツに親しみ、個々のライフステージに応じたスポーツの楽しみ方が求められ、スポーツ・レクリエーションの種目も多様化しています。

こうした中で、市民が健やかでより豊かな生活を実現するため、「いつでも どこでも いつまでも」スポーツ・レクリエーションを親しむ地域スポーツ社会と市民の多様なニーズに応じた活動・普及促進に努め、その環境整備に取り組みます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のレガシーとしてスポーツ習慣の定着に取り組みます。

基本施策3-1	担当課	スポーツ振興課
スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	スポーツ推進計画の推進 【スポーツ振興課】	スポーツ推進計画に掲げる数値目標達成に向け、様々なスポーツ・レクリエーション活動を開催した。
2	スポーツ推進委員によるスポーツの推進 【スポーツ振興課】	第140回、第141回市民健康づくり歩け歩け運動、ポッチャ昭島カップ開催に向けたポッチャ体験会、インクルーシブスポーツの体験会としてモルック体験会を開催した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	継続して実施している事業の他に新たにモルック体験会を開催するなど多くの取組ができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、教室参加人数は昨年度より増加しているが、他の事業の中で屋外で実施する天候等の影響を受ける事業については横ばいとなっている。		
今後の取組の方向性		
新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、スポーツ推進計画に掲げる数値目標達成に向け事業を展開していく。障害の有無に関わらず誰でも参加することのできるポッチャやモルックなどインクルーシブスポーツの更なる普及に向け事業を展開していく。		

(参考資料) ▼主な取組1、2 参加人数等

事業名	開催数	参加人数	チーム数
スポーツ教室	25教室	10,533人	-
市民健康づくり歩け歩け運動	2回	67人	-
ポッチャ体験会	12回	130人	-
ポッチャ昭島カップ	1回	44人	11チーム
モルック体験会	2回	43人	-

▼ポッチャ昭島カップの様子



▼モルック体験会の様子



基本施策3-2	担当課	スポーツ振興課
スポーツ・レクリエーション環境の整備		

主な取組【担当課】		取組実績
I	運動施設の整備 【スポーツ振興課】	総合スポーツセンター（A棟除く）、みほり体育館、市民球場（夜間照明除く）、立体駐車場のLED化を実施し、総合スポーツセンターにおいては受変電設備のオイル交換やGHP等修繕、みほり体育館においては床改修工事、空調機器設置工事（令和6年度継続）を実施した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	要望の多かったみほり体育館への空調機器設置に着手することができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
令和6年2月の降雪以降総合スポーツセンターA棟における雨漏りが発生しており、早急な対応が必要と考えられる。		
今後の取組の方向性		
公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化に向けた事業を実施していくとともに、計画に掲載されていない運動施設の整備等についても検討していく。		

（参考資料）

▼運動施設の整備

（令和6年度実施予定の主な施設整備等事業）

施設名	整備内容
総合スポーツセンター	A棟屋上防水工事
みほり体育館	空調機設置工事（令和5年度からの継続事業）
市民球場	内壁等修繕

基本施策3-3	担当課	スポーツ振興課
人材の育成・地域交流の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	市民体育大会の実施 【スポーツ振興課】	第70回昭島市民体育大会を実施。
2	新春駅伝競走大会の実施 【スポーツ振興課】	前回同様、もくせいの杜周回コースにて、第69回新春駅伝競走大会を開催。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	新春駅伝競走大会においては市外チームの参加を再開し、市民体育大会の自治会ブロック別大会についても再開をしたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
(ア)市民体育大会 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、自治会ブロック別大会を再開したが、開催自体が困難なブロックがあった。 (イ)新春駅伝競走大会 中学生男女の部とその他の部を分けて実施していることにより、大会の開催時間が長くなってしまい交通規制の時間が長くなっている。		
今後の取組の方向性		
(ア)市民体育大会 ブロック別大会については3年間実施できていなかったことから、開催方法の引継ぎに問題が生じるなど、ブロックにより実施困難な場合もあることから合同での実施を提案していく。 (イ)新春駅伝競走大会 中学生男女の部とその他の部を分けて実施していることで開催時間が長くなっているが、コロナ禍前のように全ての部門を同時に開催し開催時間を短縮することも検討していく。また今大会より市外からの参加も再開しており、更なる参加者増へ向け周知等も行っていく。		

(参考資料)

▼第70回昭島市民体育大会【種目別大会】競技種目、参加人数

種目名	参加人数	種目名	参加人数
陸上競技大会	156	ソフトボール大会	242
軟式野球大会	1,185	テニス大会	82
卓球大会	206	インディアカ大会	82
ソフトテニス大会	128	ダンススポーツの集い	65
弓道大会	53	ビーチボール大会	181
バレーボール大会	180	ゴルフ大会	242
バスケットボール大会	627	グラウンド・ゴルフ大会	65
剣道大会	204	ターゲット・バードゴルフ大会	29
空手道大会	242	武術太極拳大会	75
クレー射撃大会	20	水泳大会	72
バドミントン大会	204	YOSOAKOI大会	207
サッカー大会	1,442	フットベースボール大会	310
		計	6,299

▼第70回昭島市民体育大会【ブロック別大会】競技種目、参加人数

ブロック名	会場	参加人数	ブロック名	会場	参加人数
1	共成小学校	700	10	拝島第一小学校	647
2	共成小学校	303	11	中止	—
3	東小学校	280	12・13・18	拝島第二小学校	475
4・21	富士見丘小学校	502	14	開催なし	—
5・6	中神小学校	195	15	武蔵野小学校	124
7	成隣小学校	217	16	田中小学校	100
8・9	光華小学校	490	17・19・20	つつじが丘小学校	650
				計	4,683

▼第69回新春駅伝競走大会 部門、参加チーム数、参加人数

部門名	参加チーム数	(内オープン参加数)
地域の部	60	5
地域女子の部	10	—
壮年の部	10	—
一般の部	16	1
中学生男子の部	29	2
中学生女子の部	23	2

▼第70回市民体育大会の様子（フットベースボール大会）



▼第69回新春駅伝競走大会の様子



基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ			自己評価	該当頁
1 スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進			B	63
2 スポーツ・レクリエーション環境の整備			A	64
3 人材の育成・地域交流の促進			B	65,66
政策指標				
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている 市民の割合（スポーツ推進計画 アンケート調査）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 目標値
	53.2%	未実施	55.0%	60.0%

外部評価員による評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
心身の両面にわたる健康の保持増進とともに、仲間づくりがはかられるなど、健やかで豊かな生活の実現を目指して、「いつでも どこでも いつまでも」地域でスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、活動・普及促進と環境整備に取り組むことが本施策の方向性として示されています。 基本施策3-2スポーツ・レクリエーション環境の整備では、市民の要望に応える運動施設の整備実施について、高く評価できます。一方で、基本施策3-1スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進や、基本施策3-3人材の育成・地域交流の促進においては、参加者数の減少や運営方法の引き継ぎ問題などの課題も見受けられます。生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の機会を多世代に身近に提供するための、運営支援のあり方や参加者への呼びかけの工夫を引き続き検討してください。			

基本施策4 図書館活動の充実

施策の方向性

昭島市民図書館基本方針・基本計画に基づき、学び成長を応援し、仕事や暮らしに役立つ、また、誰にでも利用しやすい図書館を目指し、地域や学校との連携を図りながら、図書館サービスの充実に努めます。

また、令和7(2025)年度に開設予定の(仮称)市民総合交流拠点施設内に図書館分館を設置し、東部地区における図書館機能の充実に努めます。

基本施策4-1 担当課 アキシマエンス管理課

多様な情報・資料の提供

主な取組【担当課】		取組実績
1	蔵書の充実 【アキシマエンス管理課】	・市民の身近な課題解決を支援したり、ブックスタートに適した図書を中心に蔵書の充実に努めた。 ・利用者のリクエストや社会ニーズを考慮した資料の整備に努めた。
2	電子書籍の充実 【アキシマエンス管理課】	・電子書籍所蔵数 16,348点 ・利用者数 5,388人 ・貸出数 11,243点

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	電子書籍の蔵書数や利用者数、レファレンスの受付件数に課題があるものの、指定管理者からの提案を踏まえ、施策の方向性に沿った資料の収集を行うことができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
アキシマエンス開館以来、登録者も順調に増え、市民の登録率も都内の上位となっている中で、様々な情報要求に応え、課題解決に資することができるレファレンススキルのさらなる向上及び電子書籍も含めた蔵書の充実を課題と捉えている。		
今後の取組の方向性		
市民の様々な情報要求及び様々な言語に対応できるよう、電子書籍を含めた図書館資料の充実に努める。		

(参考資料)

▼主な取組1 蔵書冊数

令和4年度	令和5年度			
蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	蔵書冊数
437,429	17,559	594	11,320	444,262

▼主な取組1 リクエストサービス

リクエスト	対応内容(件)		
件数	自館所蔵	購入	借用
154,606	148,041	1,531	5,034

▼主な取組1 レファレンス受付件数

受付	内訳			
件数	窓口受付	電話照会	文書照会	簡易
11,292	180	11	4	11,097



▲書架の様子①



▲書架の様子②

▼昭島市民図書館電子書籍サービス

<https://web.d-library.jp/akishima/g0101/top/>

基本施策4-2	担当課	アキシマエッセンス管理課
図書館利用の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	子ども読書活動推進計画の推進 【アキシマエッセンス管理課】	・公益財団法人図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域予選にあたる「図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマ」を開催し、夏休み期間に子ども向け調べもの相談コーナーを開設する等参加を促す取組を実施した。 ・小学校1年生を対象に、市立小学校と連携し希望者に貸出券と貸出中の資料を印字できる「読書の記録」を交付・配布した。 ・「読書の記録」を市内在住・在学の中中学生以下の利用者に配布した。 ・おはなし会やものがたりライブ等読書習慣の定着を促す事業を実施した。 - 交流ひろば等を利用して季節展示を実施した。
2	学校図書館との連携 【アキシマエッセンス管理課】	・市立小中学校の児童・生徒に配布されたタブレット端末から、電子書籍サービス、蔵書検索、予約システムにアクセスできる機能を引き続き設定した。 ・小学校へ職員を派遣し、ブックトークを実施した。 ・小学校及び中学校の司書教諭等を対象とした司書教諭等研修会を実施した。 ・児童・生徒による図書館見学 1,062人
3	中学高校生の読書フォーラム 【アキシマエッセンス管理課】	・アキシマエッセンス体育館において、第1部 中学生のビブリオバトル、第2部 クロスワードクイズ、第3部 読んで旅する読書「旅行記や世界文学の国ごとの紹介」を実施した。 ・会場で市内の中中学生が作成したPOP（宣伝と内容紹介が目的の札）を展示した。 ・市内の高校生で構成する実行委員会を立ち上げて実施した。 ・参加人数 55人

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	図書館利用のきっかけとなるような様々な取組を企画、実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
<u>(ア) 子ども読書活動推進計画の推進について</u> 目標達成に向け、効果的な事業を実施する必要がある。 <u>(イ) 学校図書館との連携について</u> 司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問、団体貸出等の学校図書館支援を充実させる必要がある。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア) 子ども読書活動推進計画の推進について</u> 計画に基づき様々な事業に取り組むとともに、調べる学習コンクールへの積極的な参加を促す取組を実施していく。 <u>(イ) 学校図書館との連携について</u> 司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問、団体貸出等の学校図書館支援を実施していく。 <u>(ウ) 中学高校生の読書フォーラムについて</u> 実行委員会と連携し、引き続き実施していく。		

(参考資料)

第1回図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマの結果発表

小・中学校から作品を募集し、316 作品の応募がありました。審査の結果、次の方が入賞しました。
<敬称略>

◇市長賞 「はかせのだいけんきゅう」
林 令性 (*奨励賞入選)
「ケンムン〜本当にいるのか知りたい!〜」
石川 愛結(*佳作入選)
「どうしてわたしのまちには駄菓子屋さんがいないのか! ? 〜まだまだ知らない昭島市〜」
平澤 慧 (*佳作入選)

◇教育長賞 小花和卯月(*佳作入選)
太田 める
松野紘之介(*佳作入選)

◇図書館長賞 前田 梨佐
菊地 美月
開 香太

◇優秀賞 見元 奏 染谷 航平 黄 将生
木内 一道 岩堀 佳乃 原田理桜菜
平林 東馬



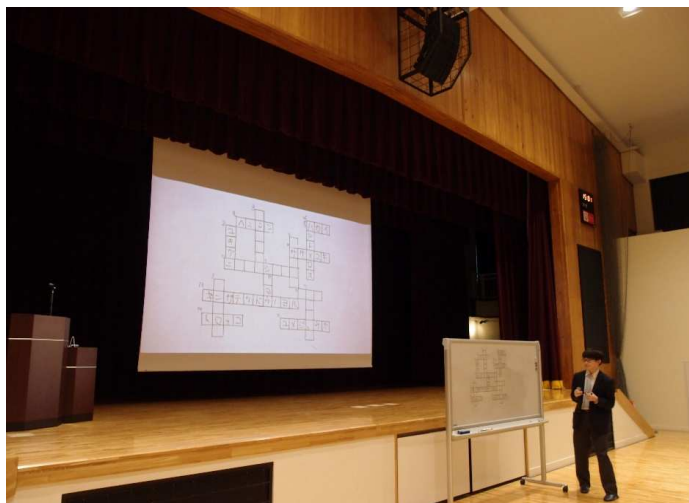
←市民図書館ホームページに表彰式の様子を掲載しています。

*印は全国コンクールに推薦され入選した方です。
☆詳しくは、市民図書館 (Tel 042-543-1523) へ

▲図書館を使った調べる学習コンクールinアキシマ(教育・青少年だより「エール」10号より)



▲読書の記録



▲中学高校生の読書フォーラム

基本施策4-3	担当課	アキシマエンス管理課
図書館を拠点とした活動の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	図書館ボランティアとの協働 【アキシマエンス管理課】	・音訳者講習会を実施した。 ・読み聞かせ等の活動を引き続き協働して実施した。 ・ボランティア活動に対する意欲向上、利用者へのボランティア活動認知度向上等を目的に、活動中に着用するビブス（ベスト）を用意した。
2	地域資料の保存 【アキシマエンス管理課】	地域への関心を高め、地域の良さを知ることを通して愛着を育むことができるよう、地域資料の収集・保存に努めた。

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	図書館ボランティアの活躍の場の広がりに課題があるものの、図書館を拠点とした活動を支援するための取組を実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
図書館ボランティアの活動が、従前の排架や読み聞かせにとどまっていることから、今後は、書架案内や読書相談及びイベントへの参画などの新たな活動の場を広げることを課題と捉えている。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア) 図書館ボランティアとの協働について</u> ・広くボランティアを募り、ボランティア講習会等を実施しスキルアップを図る。 ・図書館ボランティアと協働し、利用者教育を推進する。		
<u>(イ) 地域資料の保存について</u> 郷土の歴史・民俗や行政に関するもの等多様な資料を収集し、適切に保存及び提供する。		

（参考資料）

▼主な取組1 図書館ボランティア活動実績

排架		読み聞かせ	
登録数	実施延人数	登録数	実施延人数
11	376	18	166

▼主な取組2 地域資料の所蔵点数

令和4年度		令和5年度	
所蔵数	受入数	除籍数	所蔵数
55,512	609	67	56,054

▼音訳者講習会の様子



基本施策4-4	担当課	アキシマエンス管理課
誰一人取り残さない環境の整備		

主な取組【担当課】		取組実績
1	多言語・多文化資料の充実 【アキシマエンス管理課】	・多言語・多文化資料の充実を図るため、英語、中国語、シンハラ語で記された図書等を購入した。
2	移動図書館の実施 【アキシマエンス管理課】	・サービスステーション13か所及び東中神駅南口駅前ロータリーステーション（夜間）において、延べ286回実施した。 ・「もくせい号」活用の試みとして、田中小学校と連携して夏休み期間中に田中小学校校庭において計6回実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	様々な状況でサービスを利用できる よう環境整備を進めるための取組を 実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
現在、移動図書館の実施においては主に「もくせい2号」を使用している。イベント開催時等の使用が主となっている「もくせい1号」をさらに活用できる方法を検討する必要がある。		
今後の取組の方向性		
移動図書館の運行により、図書館に来館することが困難な方にもサービスを提供し、利便性の向上を図る。		

（参考資料）



▲多文化コーナーの様子①



▲多文化コーナーの様子②



▲もくせい2号

基本施策4 図書館活動の充実

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ				自己評価	該当頁
1 多様な情報・資料の提供				C	68,69
2 図書館利用の促進				B	70,71
3 図書館を拠点とした活動の支援				C	72
4 誰一人取り残さない環境の整備				B	73
政策指標					
市民一人あたりの貸出冊数(年間)			令和2年度	令和4年度	令和5年度
			5.6冊	6.6冊	6.5冊
			令和8年度 目標値		8.0冊

外部評価員による評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
昭島市民図書館基本方針・基本計画に基づき、学び成長を応援すること、仕事や暮らしに役立つこと、誰にでも利用しやすいこと、地域や学校との連携を図ることなどを通して、図書館サービスの充実に努めることが本施策の方向性として示されています。 基本施策4-1多様な情報・資料の提供では電子書籍の蔵書数や利用者数、レファレンス受付件数が伸び悩むなどの課題はあるものの、基本施策4-2図書館利用の促進における、特に子どもの読書に関する事業が充実しており、子ども読書活動推進計画の推進、学校図書館との連携をはじめ、中学高校生の読書フォーラムでは中学生のビブリオバトル等を実施するなど、魅力的な活動が展開されています。 自己評価でも指摘されている通り、多様な市民に対する今後の図書館サービスの充実においては図書館ボランティアとの協働がひとつのキーとなりそうです。地域人材の発掘・育成にさらに積極的に努めてください。			

基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進

施策の方向性

様々な対象や課題の講座を多様な方法で開催し、「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整えるとともに、公共施設の多目的な活用を進め、多様な学習活動を支援します。

市民に分かりやすい生涯学習情報の提供に努めるとともに、生涯学習サポーターの養成などを促進し、地域で活動する人や団体とのつながりを広げ、市民それぞれのニーズに応じた生涯学習活動への参加を支援します。

また、学習の成果を個人の生活や地域の活動等に生かすことで、学びの意欲が向上されるよう、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習を推進します。

基本施策5-1

担当課

市民会館・公民館、社会教育課

学習機会の提供

主な取組【担当課】		取組実績
1	公民館事業の充実 【市民会館・公民館】	子育てセミナー、教育文化セミナー、社会文化セミナー、歴史文化セミナー、男女共同参画セミナー、シニア講座、自主市民講座、地域課題講座等を実施した。
2	パソコン教室等の開催 【社会教育課、市民会館・公民館】	デジタルデバインド対策として、中高年のためのパソコン教室や、60歳以上や初心者の方を対象にしたスマホ講座等を複数回、市内全域で開催した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	デジタルデバインド対策等様々な課題の講座を実施することができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
<u>(ア) 公民館事業の充実について</u> 公民館事業では幅広い年齢層の講座参加者を想定しているが、高齢層の参加が多く、生産労働世代や若年層世代の参加者が少ない。		
<u>(イ) パソコン教室等の開催について</u> パソコン教室等の開催にあたり、参加者個々のレベルに応じた取組みが課題となっている。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア) 公民館事業の充実について</u> 市民ニーズを的確に判断するための情報収集をするとともに、平日に来館することが難しい世代や若年層も参加できるように、ICTを活用した講座を実施していく。		
<u>(イ) パソコン教室等の開催について</u> パソコン教室等では、参加者個々のレベルに応じた内容を取り入れることを検討し、参加者に満足していただける教室にしていく。		

(参考資料)

【パソコン教室等の開催 参加者数】

事業名	内容	回数	受講者数
中高年のためのパソコン教室	ワードの基本操作	3	9
ゼロから始めるスマホ教室	基本操作、カメラ、LINEの使い方	22	98
初心者のためのスマホ会	安心して使う方法、カメラ、マップ検索ほか	20	55
初心者のためのパソコン会	アップデート、写真取込ほか	12	35

【公民館事業の充実】

種別	事 業		時 期	回数	人数	会場	
障害のある青年の交流講座			4/23～3/10	22	21	公民館ほか	
市民講座	家庭教育セミナー	子育てセミナー「子育ての悩み解決のいとぐち」	4/20～7/13	8	8	公民館	
		教育文化セミナー「ハーモニーを学ぼう!～声を出して、歌を楽しもう～」	11/18・25、12/10	3	18	公民館	
	男女共同参画セミナー	父さん子育て奮闘記 ～つらくても笑える日が来るために～	6/24、7/29	2	30	公民館	
	社会文化セミナー	パパ&ママのための『夫婦会議®』のすすめ	9/9	1	17	オンライン形式	
	歴史文化セミナー	昭島 まちの形成史 深掘り編	2/14～3/13	5	40	公民館	
	シニア講座	使うのが楽しくなる!初心者のためのスマホ講座	4/5～26	4	10	公民館	
		スマホ体験教室	①11/8・15 ②11/22・12/6	①2 ②2	①16 ②15	公民館	
	子ども対象事業	夏休みわくわく体験教室	水でゆらめくカラフルボールを作ろう	7/29	1	28	公民館
			空手体験教室	7/30	1	13	公民館
			すぐやれる!みんなのハウスワーク	8/2	1	12	公民館
			チョークアートでハイビスカスを描こう!!	8/4	1	18	公民館
			バスボム教室	8/9	1	21	公民館
			JAXA子ども科学教室	7/28	1	25	公民館
			冬休み親子工作教室「スピーカー作り」	12/10	1	26	公民館
春休み親子教室「おみせやさんごっこ ～親子でお金の大切さを学びます～」			3/24	1	10	公民館	
市民大学	第11期市民大学・1年次課程		5/20～3/16	20	36	公民館ほか	
	第10期市民大学公開講座(歴史・福祉・財政)	昭島 まちの形成史 ～明治からの変遷を知り明日の昭島を考える～	8/26～9/28	5	41	公民館	
		知りたい、学びたい、福祉のいま! ～人生の各ステージ(子ども、成人、老人)における福祉との関わり～	11/18～12/23	5	25	公民館	
		昭島の魅力を知ろう! ～せっかく昭島に住んでいるのだから～	1/13～2/10	5	38	公民館	
	市民大学フォーラム公開講座	昭島の住みよい環境を考える!!	2/8～2/29	4	25	公民館	
地域公民館事業	夏休み親子映画会	アイアン・ジャイアント	7/23、27	2	42	公民館ほか	
	地域課題講座	おいしい、楽しい、な～るほど! ワクワドキドキ異文化交流	2/10～3/2	4	28	武蔵野会館ほか	
	趣味教養講座	バランスボールでカラダもココロもスッキリしよう	2/14～28	3	7	拝島会館	
	時局講演会	社会人の学び直し ～はじめてのリスクリング～	3/2	1	11	武蔵野会館	
自主企画事業	自主市民講座	昭島歴史をよむ会 初心者講座「古文書に親しむ」	4/16～5/21	4	25	公民館	
		草の根シンクタンク昭島「安心して生きるために、いざという時の備えを!」	8/31～10/5	5	29	公民館	
利用者懇談事業	共催事業	公民館まつり・シニアグループ合同発表会	5/13・14	1	参加団体19	公民館	
		公民館まつり講演会「集う・出会う・変わる～公民館ならではの学び～」	5/14	1	60	公民館	
	保育室運営	保育者連絡会	4/13～3/7	9	9	公民館	
	各室運営	美術工芸室利用団体懇談会	3/21	1	7団体	公民館	
		利用者全体懇談会	2/24	1	69団体	公民館	
		ボックス抽選会	2/24	1	83団体	公民館	

基本施策5-2	担当課	社会教育課、市民会館・公民館
学習活動の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	生涯学習の機会の提供 及び支援 【社会教育課】	市や社会福祉協議会、観光まちづくり協会が実施する講座や教室、相談窓口の情報をまとめた「あきしま学びガイド」を発行し、市内公共施設等での配布やホームページでの公開を実施した。
2	社会教育関係団体の育成 【社会教育課】	社会教育委員と行政が市民の声を聴き、社会教育活動を行うのが互いに情報を共有し繋がりを作る場として、6月に「若者のやりたいこと」「共創のしくみづくり」をテーマに若者10人、一般22人が参加しあきしま会議を開催した。また、7月にはあきしま会議に参加した高校生と社会教育委員が参加し、若者のやりたいことの方角性を共有するためフォローアップミーティングを開催した。
3	市立会館管理運営事業 【社会教育課】	市民の活動拠点や地域の情報交換の場として市民が快適に利用できるよう、昭和会館及び武蔵野会館の空調設備改修工事を実施するとともに、再生可能エネルギーの導入及び災害時のレジリエンス機能強化のため、大神会館太陽光発電設備等設置工事設計委託を実施した。11会館の令和5年度の利用者は27,502団体、227,044人であった。
4	障害のある青年の交流 講座の実施 【市民会館・公民館】	障害のある青年達が集団活動を展開するなかで交流を深め、たくましく生きていく力を身に付けることを目的に、開講のつどい、よさこいソーラン、遠足、お菓子作り、工作、クリスマスなどの年間を通して22回実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方角性以上の成果がでている	ソフト、ハード面で生涯学習活動の機会及び情報の提供を行い、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習の推進が図られた。 障害のある青年の交流講座では、毎月の開催のほかに青少年フェスティバルでのよさこいソーランやくじら祭りでのパレードに参加した。
	B… 施策の方角性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方角性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
(ア) 生涯学習の機会の提供について 市民団体の活動内容、会員募集などの情報発信について検討が必要である。また、老朽化した施設の改修や備品等の入替が必要である。 (イ) 障害のある青年の交流講座について 障害のある青年の交流講座では職員とボランティア数人で事業を行っているが、参加者に対しボランティアが少なく、安全に活動をするうえでボランティアの増員を図っていく必要がある。
今後の取組の方角性
(ア) 生涯学習の機会の提供について 「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整備し、快適に利用できる施設の維持・管理に努める。また、市民のニーズを捉えた情報提供について研究を行う。 (イ) 障害のある青年の交流講座の実施について 障害のある青年の交流講座においては、ホームページや公民館だより、SNSを活用して引き続きボランティアを募り、また大学等の教育機関と連携してボランティアの増員を図る。

(参考資料)

▶「あきしま学びガイド」

昭島市等の事業として行われる講座や教室などの
情報を掲載した生涯学習情報誌

昭島市HP>文化・スポーツ>生涯学習

>あきしま学びガイド

<https://www.city.akishima.lg.jp/s122/040/020/0>

[80/010/20140912131648.html](https://www.city.akishima.lg.jp/s122/040/020/030/20211215142032.html)

令和5年度版 あきしま学びガイド		
令和5年4月1日現在の情報で、市民の方が参加できる情報を簡単に掲載しています。 感染症等の影響により、事業を変更、または、中止する場合があります。 事業によっては、費用負担があります。 詳しくは、各担当へお問い合わせいただくか、「広報あきしま」をご覧ください。 問い合わせ先に電話番号の記載のないものは、昭島市役所 電話 042-544-5111 (担当・係へ)		
目次	掲載内容	ページ
子どものための講座・教室、交流事業	各種講座・教室(スポーツを除く)、公民館・市民図書館・児童センター『ほれっと』の事業、学習の発表など	2
おとなのための講座・教室	各種講座・教室(スポーツを除く)、公民館・市民図書館の事業など	7
乳幼児、子どもの健康・出産・育児	フレッシュママ・パパ学級、離乳食講座、初めての産後教室、産後の保健衛生講座など	11
健康・介護・保健衛生	各種講座・教室、いきいき元気教室、男性介護者学習会・交流会など	12
地域活動、防災・減災、交通安全	市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議、防災研修会、空家講習会、交通安全市民のつどいなど	14
ボランティア・福祉	ボランティア養成講座、手話講習会、手話通訳者派遣、ファミリー・サポート・センター協力会員養成講習会、知的障害者(児)ガイドヘルパー養成研修など	15
環境、農業、リサイクル	ごみ減量啓発講座、森林教室、環境学習講座、農フォーク、フリーマーケットなど	16
スポーツ・レクリエーション	子ども向け、おとな向け、スポーツの大会・イベント、野外活動施設など	17
各種相談	法律、教育、子育て、健康など、様々な相談窓口一覧	22
展示	アキシマクジラ化石などの展示、拝島駅自由通路での展示、郷土資料室、郷土資料展示室など	24
昭島生涯学習サポーターの会 まなびん		25
子どもたちの学習支援&居場所づくり		26
認知症カフェ		27
生涯学習援助協力者 登録・紹介		28
イベントカレンダー	あきしま郷土芸能まつり、市民くじら祭、88歳表彰式、産業まつり、青少年フェスティバル、はたちのつどいなど	29

【ご注意】施設名を愛称などで表記しています。
 ● 保健福祉センター ⇒ あいぽくく
 ● 市民会館 ⇒ FOSTERホール(旧KOTOriホール)

1 市公式ホームページでもご覧いただけます

▼市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議

(昭島市HP>文化・スポーツ>生涯学習>社会教育委員>市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s122/040/020/030/20211215142032.html>



▼障害のある青年の交流講座(お菓子作り)



▼障害のある青年の交流講座(深大寺遠足)



基本施策5-3	担当課	社会教育課、市民会館・公民館
学習成果の活用		

主な取組【担当課】		取組実績
1	生涯学習サポーターの養成と活用【社会教育課】	9回目となる生涯学習サポーター養成講座を開催した。また、受講生が結成した「昭島生涯学習サポーターの会まなぶん」との共催で、数楽で脳トレ、初心者のためのスマホ会、はじめての染色などを開催した。
2	市民大学の実施【市民会館・公民館】	市民としての自治能力を培い、学びの成果を地域で活かせるように、総合的な学びの場として第11期市民大学第1年次課程を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	生涯学習サポーターの会まなぶんは積極的に事業を企画し、養成講座における学習成果の活用が図られている。 市民大学では、様々な課題を学習することによって知識を深めて自己実現を図り、地域社会への参加のきっかけとなっており、一定の成果を得られている。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
<u>(ア)生涯学習サポーターの養成と活用について</u> 生涯学習サポーター養成講座においてはLINE等を活用し募集しているが、参加人数の大幅な増加には至っていない。		
<u>(イ)市民大学の実施について</u> 市民大学の1年次では全体を通して座学が中心のため受講生の負担は少ないが、2年次になるとコース別に分かれグループ学習形式で、参加者の主体的な学習活動になるため途中で断念してしまう方もいるので、2年次を修了するまできめ細かなサポートしていく必要がある。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア)生涯学習サポーターの養成と活用について</u> 生涯学習サポーター養成講座の参加者募集については、X等他のSNSも活用し周知に努める。		
<u>(イ)市民大学の実施について</u> 市民大学各期の卒業生で組織されている市民大学フォーラムとの連携を強化し、市民大学現役受講生を丁寧にサポートする体制の充実を図っていく。		

(参考資料)

生涯学習サポーター養成講座とまなぶん共催事業の参加者数等

事業名	内容	回数	人数
生涯学習サポーター養成講座	「ウォーキングマップ散策講座」企画・開催を学ぶ	4	6
<まなぶん共催事業>			
数楽で脳トレ	おもしろい不思議な計算ほか	10	51
初心者のためのスマホ会	安心して使う方法、カメラ、マップ検索ほか	20	55
初心者のためのパソコン会	アップデート、写真取込ほか	12	35
はじめての染色	藍染	2	16

第11期

昭島市民大学

受講者募集!

昭島市や社会の課題について知識を深め、仲間と出会い地域社会への参加のきっかけをつかみましょう。

1年次学習過程 *会場：昭島市公民館他

1	5. 20		開講式 ～オリエンテーション～	昭島市教育長 山下 秀男
2	5. 27	生涯 学習	人生 100 年時代の市民の学習	日本女子大学教授 田中 雅文
3	6. 10	フィ ール ドワ ーク	ジェットエンジンの開発と歴史 IHI 空の未来館見学	(株) IHI 社員
4	6. 24	一般 教養	SDGs と私たちの社会	東海大学准教授 二ノ宮リムさち
5	7. 1		もし日本が侵攻されたら～その 危機管理とリスクコミュニケーション～	日本大学 危機管理学部教授 福田 充
6	7. 22		AI (人工知能) の現状と将来 性 ～どうなる未来の暮らし～	玉川大学教授 大森 隆司
7	8. 26	市制 ・ 暮ら し	昭島の水を知ろう 後半：市民大学フォーラムの紹介	昭島市水道部職員 市民大学フォーラム会員
8	9. 2	一般 教養	ヤングケアラー～介護を担う子 どもたちのために～	日本女子大学名誉教授 堀越 栄子
9	9. 9	市制 ・ 暮ら し	ハザードマップから読み解く昭 島の防災	昭島市総務部防災課職員
10	10. 7	歴史	地域を知ろう「多摩の歴史」	昭島市教育委員会嘱託 近代史調査員 三村 章
11	10. 21		地域を知ろう「昭島の歴史」	
12	11. 4		昭島の文化財	
13	11. 18	交流	作って食べて交流	麺類愛好会代表 大野 和彰
14	12. 2	福祉	社会福祉の考え方を知る ～歴史的な発展の理解とこれか らに向けて～	文教大学准教授 大島 隆代
15	12. 16		高齢化の現状と課題	
16	1. 20		災害と地域福祉(市内のボラン ティアについて)	
17	1. 27	環境	環境教育 1「地球環境の現状と 課題」	エコット政策研究 センター代表 中岡 章
18	2. 10		環境教育 2「地球環境に考慮し たエネルギー政策」	
19	2. 24		環境教育 3「環境に優しい暮ら しを目指して」	
20	3. 16	交流	2年次に向けて交流 ～コース選びと懇親会～	職 員

1年次・・・基礎学習(全 20 回)

令和 5 年 5 月～6 年 3 月

2年次・・・コース別専門学習(年間)

令和 6 年 5 月～7 年 3 月

「環境」「福祉」「歴史」の 3 コース
に分かれ、助言者と受講生がグル
ープで主体的に学習します。

修了後・・・コース別公開講座の開設、
市民大学フォーラムの学習活動等



1 年次学習風景

対 象 40 歳以上の市内在住在勤者で
2 年間にわたって受講できる方
※再受講可。ただし初めての人を優先。

定 員 40 名 (多数抽選)

参 加 費 2,000 円 (各年次)

申 込 4 月 3 日(月)～4 月 30 日(日)
までに公民館で受け付け
TEL (042) 544-1407

* 詳しい募集要項が裏面にあります
ので、ご確認ください。

主催／昭島市公民館

基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進

自己評価のまとめと外部員評価

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 学習機会の提供		B	75,76
2 学習活動の支援		B	77,78
3 学習成果の活用		B	79,80
政策指標			
生涯学習講座などの参加者数	令和元年度	令和4年度	令和5年度
	2,266人	2,263人	2,670人
令和8年度 目標値			2,600人
公民館年間延べ利用者数	119,387人	77,759人	92,475人
			130,000人

外部評価員による評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
市民の生涯を通じた学習活動を支援するために、「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境の整備や公共施設の多目的な活用促進などを通して多様な学習活動を支援すること、わかりやすい生涯学習情報の提供、生涯学習サポーターの養成、地域で活動する人材や団体のつながりづくり、学習成果の活用などを行うことが本施策の方向性として示されています。 基本施策5-1学習機会の提供では、公民館等において多彩な講座・事業が実施されており、充実した内容が実現していると言えます。基本施策5-2学習活動の支援では、社会教育関係団体の育成として、若者も参加してあきしま会議を開催したことは、特徴的な事業として注目されます。学習機会の提供と学習活動の支援が循環するような取り組み、例えば講座後に自主的な学習を継続できるようグループ化を支援してことや、長年活動する団体とこれから学びをはじめたい人が交流する機会の設定など、継続して検討してください。また基本施策5-3学習成果の活用にあるように、学びと活動の循環を支える担い手である社会教育人材の養成と活用も、さらに積極的に進めてください。			

第4章 点検及び評価に関する有識者からの意見

【花田 茂】(学校教育分野)

プロフィール

- ・明星大学理工学部総合理工学科 特任教授 / 昭島市立学校適正規模適正配置等審議会会長
- ＜主な経歴＞
- 昭島市教育委員会 指導室長 / 国分寺市立第五中学校 校長 / 東京都中学校長会会長
- 小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会 委員長

総評

人口の減少、高齢化、就学・就業構造の変化、急速なグローバル化や人工知能・IoT等の技術革新等が進展する中、人生100年時代、さらにはSociety5.0という新たな時代が到来しつつあります。こうした中で学校教育は、生涯学習と連携しつつ、激変する国際情勢、社会構造・産業構造などに対応し、多方面で活躍する人材の育成が不可欠であり、生涯にわたり必要となる能力を児童・生徒に確実に身に付けさせる必要があります。

「昭島市教育振興基本計画」の中では、学校教育の目標に「ふるさと昭島の自然や文化を愛し、社会に主体的に貢献できる『たくましい昭島っ子』の育成」を掲げ、「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「健やかな体の育成」「輝く未来に向かって」の4つに焦点化して、育てたい児童・生徒の姿を明確にして施策を展開しています。この4つは不変な学校教育が目指す方向性を示しているとともに、新たな時代への羅針盤として市民へもわかりやすく情報発信していると考えます。

令和5年度の事務事業の点検評価に際し、10年ほど前に教育委員会事務局の職員として、また、その後の10年間、中学校の校長としての経験を踏まえて、それぞれの施策が児童・生徒にとって、また市民にとって有益なものとなっているか、目標がどの程度達成されているかという視点から評価しました。個々の課題は散見するものの、全般的に施策は順調に進み、一定の達成状況は確認できました。

今回の点検評価では、施策の中に個別の評価指標が設定されていないものもあるため、実績や成果が見えにくい面もありました。教育施策の評価は数値化が難しい側面は多くありますが、今後、可能なものは指標として示していくことで、施策の成果の見える化を検討していただきたいと思います。

基本施策1 確かな学力の定着

(P.24 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

Society 5.0 時代における学びの在り方の変革に向けて、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を確実に習得させつつ、個人の進捗や能力、関心に応じた学びの場の提供など、「確かな学力の定着」に向けて、児童・生徒が主体的に学び続けられる施策を着実に実施している。児童・生徒が自らの可能性を発揮できるように「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実すること、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域人材を含めた地域の教育資源を有効に活用し、学校教育を展開すること、多様化す

る児童・生徒の状況に応じて、市民への啓発活動をはじめ、特別支援教育の推進、就学に関して支援すること等、きめ細かな対応により、一定の成果が表れている。

特に言語能力の育成に向けて、各校の授業における取り組みの充実、市民図書館との連携、「子供の主張意見文コンクール」の実施など、文章や情報を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力の育成に向けて実績を上げている。

一方、学習指導要領が求めている主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、教員の資質向上は重要である。教員採用選考の倍率低下、ベテラン教員の退職に伴う若手教員の増加は、教育水準を確保する上で課題となる。今後も研修計画に基づいて教員研修の充実を図り、教育水準の確保に尽力いただきたい。

基本施策2 豊かな心の醸成

(P.31 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

学習指導を担う教員が同時に生徒指導の主たる担い手にもなるという日本型学校教育の特徴を生かし、創意工夫のある教育活動が実現されている。その根底には、児童・生徒の個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達を支えるという理念が施策に裏付けられている。

12月の人権週間を踏まえての人権パネル展の継続、特別な教科、道徳の「考え・議論する道徳」の視点からの授業改善、移動教室・修学旅行の体験活動の充実、学校教育と福祉行政の連携強化など、児童・生徒の「豊かな心の醸成」に寄与する施策として展開されている。

また、発達支持的生徒指導の考え方にに基づき、いじめ防止、不登校対策等の生徒指導上の個別の課題に丁寧に取り組んでおり、一定の成果が出ていると評価できる。しかし児童・生徒が今後も安心して学校生活を送り、学校が居心地のよい場所として機能するためには、引き続き、関係機関とも連携を図りながら児童・生徒の目線に立った施策を確実に進めていただきたい。

基本施策3 健やかな体の育成

(P.37 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指して、体力の向上、食育の推進、安全に関する指導をバランスよく施策として展開し、児童・生徒が生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう工夫している。

しかし一方で、コロナ禍を経て「体力・運動能力調査」の結果から児童・生徒の体力低下が懸念されていることも事実である。中学生では「運動が好きか」ということに関して、意識の低下が見られている。

そのため教育課程外の活動ではあるが、中学校における運動系部活動参加の推進は、その後のキャリア形成の意識に影響を及ぼし、社会的資質・能力の向上にも繋がっていくことを踏まえて、地域連携・地域移行の問題と併せて検討いただきたい。

また、学校給食、食育に関しては、新しい学校給食共同調理場の開設に伴い、食の見える化施策、地場産食材の活用など新たな取り組みへの挑戦は食育の推進に結びついている。今後、Let's食育研修室の活用を具現化し、計画的に進めていただきたい。

評価：4 施策は順調に推進されている。

社会の予測困難な変化や急速に進行する多様化に対応していくために、様々な教育活動を通して、児童・生徒が主体的に課題に挑戦し、多様な他者と協働してその解決を図ることが求められている。そのため学校教育が直面している問題を焦点化し、多角的な視点からそれぞれの課題を施策に落とし込み、取り組んでいる。

各校の教育推進計画に基づく学校運営、円滑な学校間の接続、昭島市の歴史と風土を生かした教育活動、GIGAスクール構想を踏まえたICT活用の推進、SDGsの視点を生かした取り組みなど、一定の成果が表れている。

一方、教育の質の向上に向けて、教員の働き方改革は重要な要素である。教員の意識は少しずつ変化しているが、教育行政の立場から更なる評価・検証を進める必要がある。例えば、水泳指導の民間企業の活用による教員の負担軽減と合わせた学校プールの在り方の検討、中学校における部活動の地域連携・地域移行など、具体的に進展するように願います。

また、教育環境の整備に際しては、長期的な展望と莫大な予算を必要とする事業であることに鑑み、慎重な計画の策定が必要である。例えば、学校施設については耐力度調査を実施して、更新時期の計画策定に際しては、教育人口推計を勘案すること、構造物の建て替えの際には、生涯学習との連携を視野に入れるなど、児童・生徒の「輝く未来に向かって」という施策の理念を踏まえていただきたい。

【倉持 伸江】（生涯学習分野）

プロフィール

・東京学芸大学教育学部教育学講座生涯教育学分野 准教授

<主な経歴>

立川市生涯学習推進審議会委員長 / 所沢市公民館運営審議会副会長

中央教育審議会生涯学習分科会社会教育人材部会委員

総評

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、令和5年度は原則的にはコロナ前と同等の社会活動が可能になったことから、生涯学習の推進事業も多様かつ豊かに展開されました。5つの基本施策－「基本施策1 文化芸術活動の推進」「基本施策2 文化財の保護・調査・活用」「基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興」「基本施策4 図書館活動の充実」「基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進」－のいずれも着実に実施されています。

一方で、地域で主体的・組織的・継続的に展開されてきた昭島市の社会教育活動・生涯学習活動に対して新型コロナは現在でも様々な影響を与えていると言わざるを得ません。多彩な人や組織の連携・協働によって担われてきた行事や事業は、数年間の休止や縮小、方法の変更等を余儀なくされた期間を経て、参加者の減少、担い手不足やノウハウの継承が困難になる等の課題に直面しています。あらゆる人々が、地域の中でいきいきと学び、学びを通してつながり、地域で学びの成果を生かしていけるように、各事業の目的と成果・課題を関係者とともに丁寧に確認・分析・省察・共有し、それを踏まえて今後の在り方を展望していくことが重要ではないでしょうか。

基本施策1 文化芸術活動の促進

（P.58 再掲載）

評価：4 施策は順調に推進されている。

文化芸術に対する市民の関心と理解を深めるために、芸術作品を身近に鑑賞できる機会を充実すること、文化芸術に係る市民の自主的な活動への支援を行うこと、文化活動の成果を発表する機会を提供すること、幅広い分野との連携を図りながら文化芸術を通して多様な交流を推進することが、本施策の方向性として示されています。

基本施策1-1 文化芸術活動への支援について、コロナ禍以前と同程度とは言えないものの、昨年度より多い来場者を得て市民文化祭を実施できたことは、市民の自主的な文化活動の成果の発表の機会提供という意味でも一定評価できます。一方で参加団体の高齢化や固定化、出場者の減少については近隣市でも同様に指摘されていることでもあり、一過性の問題ではなく今後継続的に検討・改善していくべき課題と認識する必要があります。

基本施策1-2 文化芸術に接する機会の充実については、文化芸術に関する講座・講演会や市民会館自主文化事業が計画通り実施されているものの、参加者数がコロナ禍以前ほどは戻らず、また若年層の参加が伸びないことが課題です。政策指標の結果もはかばかしくありません。文化芸術に触れる機会を多様な世代に広げるために、市民のニーズや関心をとらえる魅力ある企画を期待します。

基本施策2 文化財の保護・調査・活用

(P.62 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

地域の暮らしの中で守られ継承されてきた文化財の保護、調査、整理、保存、活用を総合的かつ効果的に行うことで、文化遺産を次世代に伝えとともに、地域の歴史や文化への理解を促すことが、本施策の方向性として示されています。

基本施策2-1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進では、郷土資料室・郷土資料展示室を核にいろいろなテーマの企画展を開催したり、ICTを活用したコンテンツを上映したりするなど昭島の歴史や文化への興味や関心を引き出し理解を促進する取り組みが充実しています。ただ残念ながら郷土資料室・郷土資料展示室への入場者数が昨年度、一昨年度よりは増加しているものの、開館した令和2年よりも減少しており、目標値の年間50,000人に届かない状況です。引き続き充実した企画展等の実施に加え、広く市民に周知する方策についても検討してください。

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

(P.67 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

心身の両面にわたる健康の保持増進とともに、仲間づくりがはかられるなど、健やかで豊かな生活の実現を目指して、「いつでも どこでも いつまでも」地域でスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、活動・普及促進と環境整備に取り組むことが本施策の方向性として示されています。

基本施策3-2 スポーツ・レクリエーション環境の整備では、市民の要望に応える運動施設の整備実施について、高く評価できます。一方で、基本施策3-1 スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進や、基本施策3-3 人材の育成・地域交流の促進においては、参加者数の減少や運営方法の引き継ぎ問題などの課題も見受けられます。生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の機会を多世代に身近に提供するための、運営支援のあり方や参加者への呼びかけの工夫を引き続き検討してください。

基本施策4 図書館活動の充実

(P.74 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

昭島市民図書館基本方針・基本計画に基づき、学び成長を応援すること、仕事や暮らしに役立つこと、誰にでも利用しやすいこと、地域や学校との連携を図ることなどを通して、図書館サービスの充実に努めることが本施策の方向性として示されています。

基本施策4-1 多様な情報・資料の提供では電子書籍の蔵書数や利用者数、レファレンス受付件数が伸び悩むなどの課題はあるものの、基本施策4-2 図書館利用の促進における、特に子どもの読書に関する事業が充実しており、子ども読書活動推進計画の推進、学校図書館との連携をはじめ、中学高校生の読書フォーラムでは中学生のビブリオバトル等を実施するなど、魅力的な活動が展開されています。

自己評価でも指摘されている通り、多様な市民に対する今後の図書館サービスの充実においては図書館ボランティアとの協働がひとつのキーとなりそうです。地域人材の発掘・育成にさらに積極的に努めてください。

評価：4 施策は順調に推進されている。

市民の生涯を通じた学習活動を支援するために、「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境の整備や公共施設の多目的な活用促進などを通して多様な学習活動を支援すること、わかりやすい生涯学習情報の提供、生涯学習サポーターの養成、地域で活動する人材や団体のつながりづくり、学習成果の活用などを行うことが本施策の方向性として示されています。

基本施策5-1 学習機会の提供では、公民館等において多彩な講座・事業が実施されており、充実した内容が実現していると言えます。基本施策5-2 学習活動の支援では、社会教育関係団体の育成として、若者も参加してあきしま会議を開催したことは、特徴的な事業として注目されます。学習機会の提供と学習活動の支援が循環するような取り組み、例えば講座後に自主的な学習を継続できるようグループ化を支援してことや、長年活動する団体とこれから学びをはじめたい人が交流する機会の設定など、継続して検討してください。また基本施策5-3 学習成果の活用にあるように、学びと活動の循環を支える担い手である社会教育人材の養成と活用も、さらに積極的に進めてください。

第5章 資料

参考資料一覧

I 昭島市教育関連計画

【参照 URL、公開場所】

①昭島市ホームページ トップページ >子育て・教育 >教育委員会 >大綱と計画

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/120/010/index.html>

②昭島市ホームページ トップページ > 市政情報 > 企画・政策

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/060/070/index.html>

計画名	主管課／作成者	公開場所
昭島市教育振興基本計画	教育総務課	①
昭島市特別支援教育推進計画	指導課	①
昭島市子ども読書活動推進計画	アキシマエンシス管理課	①
昭島市スポーツ推進計画	スポーツ振興課	①
昭島市文化芸術推進基本計画	企画政策課	②
昭島市民図書館基本方針・基本計画	アキシマエンシス管理課	①

II 参考資料

教育委員会の開催日時・場所、各回の議案・協議事項・報告事項、議事録を市公式ホームページで公開しています。（議事録等は市役所でも閲覧可能です。）

昭島市ホームページ トップページ >子育て・教育 >教育委員会 >教育委員会定例会

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/140/020/index.html>

資料名	主管課／作成者	参照 URL、公開場所
令和5年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果	指導課	令和6年昭島市教育委員会第1回定例会 報告事項2 https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/011/130/0/houkoku2.pdf
令和5年度 昭島市立学校学校経営重点計画（教育推進計画）年度末評価の結果について	指導課 （各学校）	令和6年昭島市教育委員会第5回定例会 報告事項2 https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/011/150/0/5houkoku2.pdf

昭島市教育委員会の事務事業に関する 点検及び評価報告書（令和５年度分）

発行年月 令和６年８月
発行 昭島市教育委員会
編集 昭島市教育委員会 学校教育部 教育総務課
〒196-8511
東京都昭島市田中町 1-17-1
電 話 042-544-5111（代表）
F A X 042-541-4337